京城日報

七月九日夕刊 （朝夕併せて八頁）

本紙定價 壹部參錢 壹ヶ月七拾五錢 發行兼編輯人 奥田直 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

◎ミハエル大公 軍隊召集

ミハエル大公は其居所を脱出し過激派政府顚覆の爲め軍隊召集の旨を布告せり（哈爾賓電報）

◎商工業者大會 廿四箇條の質問

西伯利新政府の應答

各社會黨より成る新西伯利政府は市廳及び州自治會等を除く外舊官憲派實業派等よりの同情更に無く同政府反對の商工業者等は大會を開きたるに來會者一千名先づ政府代表者の出席を求め一、同政府の由來二、チエック隊蹶起に對する關係の有無三、哈爾賓、北京、東京等に對する關係四、勘察加を日本に提供し借款交渉を爲すの有無等外二十四個條に亘る質問を爲したるに政府代表者は一々是を否認したるが次いで同大會は左の決議を爲せり（浦鹽電報）

一、政黨基礎の下に臨時政府を組織する事
一、軍隊は政治と全然獨立して是を復興する事
一、連盟各國との協約及び對獨宣戰を復興する事
一、勞兵會の法律を廢し臨時政府の法律に改むる事
一、勞働階級に自由を與ふると共に勞兵會の牧權を撤廢する事
一、憲法議會、地方自治會、市會議員選擧を更めて行ふ事
一、露國の主權確立する迄西伯利の獨立自治を認め重要なる問題は一切西伯利議會にて決定する事
一、是等の問題は社會黨及び非社會黨等各政派共同の上實行し爰に改選を宣言し尚ほ實行前にある市會は西伯利亞政府を承認する權限無きものと認む。

◎墺敗戰影響甚大

公債締切延期＝總司令官更迭

墺軍のピアヴェ河畔に於ける敗戰は墺國の新軍事公債募集を失敗に終らしむるもの、如く公債募集締切期日を七月十四日迄延期したるも之れが爲なり此の失敗の結果獨逸のフオンビユロー將軍は墺軍總司令官コンナード元帥に代り墺軍統率の任に就き其他の墺軍將官は罷職せられたり（倫敦電報）

◎伊軍重要地占領

伊太利軍はグラツパ河の西北に於ける重要地點を占領せり（巴里電報）

◎李督軍援軍を乞ふ

福建督軍李厚基氏は急電を政府に致し福建、尤奚外六縣陷落し福州危險と爲りたるを以て速かに龍濟光氏の援軍を請ふと（北京特電）

◎寺内首相歸京

寺内首相は八日大磯より歸京したり（東京電報）

◎駐支米公使

駐支米國公使ラインシユ氏一行は八日午前八時四十分東京驛に著せり（東京特電）

◎戰術演習終了

現地戰術演習の爲め來奉中なりし藤井師團長以下各旅團長聯隊長は七日終了九日朝奉天發歸任せり（奉天特電）

◎福原司令官檢閲

福原司令官は安東より來奉九日當守備隊檢閲の上公主嶺へ歸任す可し（奉天特電）

◎朧山外事總長 安著

朧山關東都督府外事總長は豫定を變更し八日午前六時半來安正午領事館に於ける午餐會に臨み安藤洋行の上棟式に列し記念撮影を爲し工場其他各所を視察し一泊九日五龍背に赴き一日休養の上各地視察の途に就く筈なり（安東特電）

◎露國懷柔策

米國の著目

米國が如何に露國を懷柔せんかに苦慮しつ、あることは夙に知らる、處なるが最近駐露米大使館商業部長の談は其一斑を窺知するに足らん我々米國人は未だ曾て露西亞の原野程有望な將來を持つて居る所を見た事がない斯くの如き豐饒な土地は他の何國も有しない只だ獨り米國のみがこの自然的條件に於て露國と大なる類似點を持つて居る諸君の面前には即ち米國人が曾つて辿つて來た所の經濟的發展の道が横たはつて居る而もこの自然的類似は我等の經濟的發展の交換的利益を保證し殊に將來大なる好果を見るべしと考へる事が出來る即ち嘗て自分が言つた樣に我等は確實なる基礎の上に米露の商業上の連絡を計り度い然し此關係は双方に同樣の利益ある時にのみ成立するものであるからお互ひに胸襟を開いて隱れたる考へを撤し密接に接近して露國の經濟的發展に資し度いものである此の米國の露國開拓が進めば進む程露國共者は何うなる事と然し世界の盲目者連が言つて居る樣に米國資本家が自己の利益のため幼稚なる露國工業を利用しやうと言ふのでは決してない米國は露西亞の豐富なる物資を輸し度い殊に米國市場の大いに露國に望む所のものは皮革亞麻砂糖等を輸入する事で事實米國は戰前ハンブルグ、ブレメンを經て露西亞よりこれ等の物産を輸入しつ、あつたのである

◎有望なる吉林の森林

副産物豐富

吉林省に於ける森林の有望なる事は夙に注目せられ居る處なるも北滿一帶は在來露國の勢力範圍にて容易に之に手を染むる事能はざりしが戰爭の爲此方面に於ける露國の勢力失墜すると共に邦人の飛躍自由となり遂に吉林督軍孟恩遠氏と邦人との間に森林借款の成立を見るに至れり最近其筋にて調査せし處によれば

▲吉林の森林 は淸室の狩獵地として保存に力めたりしが最近二十年來禁伐令を解きたるが爲拉法河、拉發河域、和龍延吉地方は原野と化し運材便利なる好森林は伐採に繼ぐに伐採を以てし千古の大森林にて伐採し盡されたるもの尠からざるが尚ほ多大の原始林を有し有望なる森林尠からず今之を樹木の種類により大別するに

▲第一 黄花松、澤江、安圖、敦化諸縣に於て縱横數里に亙る純林を有し樹高百尺内外直徑五尺

▲第二 檜樹、楊樹、樺樹楓樹、胡桃秋、水曲柳、楸樹、黄披羅、吉林省森林の主要を爲すものにして未だ斧鉞の入らざる原始林は總て此種に屬し樹齡百四五十年より二百四五十年に達するものあり直徑も亦一尺七八寸より四尺に達す

▲第三 落葉濶葉樹、其長材は採伐し盡され直徑一尺五寸以下のもの多し

▲第四 矮林にして地方村民の薪炭、供するを主眼とし部落附近の丘陵地に多く林齡は概ね七八年より二十年前後なり

▲森林と邦人 更に吉林省内の大體の森林状態は（一）松花江上流域（二）牡丹江上流々域（三）圖們江左帶（四）拘林河流域（五）東淸鐵道沿線（六）三姓地方なるが邦人にして現在森林事業に關係し居るは日華合木廠、吉林採木製材所、吉林燐寸株式會社、石光正行奉山號、鴨綠江製材無限公司等にして其の成績は何れも漸次良好なるも其の規模小にして充分其勢力を振ふに至らず尚充分發展の餘地あり更に副産物としては藥用人參、阿片其他の藥草類、果實及び種子、毛皮類、蜜蜂、蛤什、眞珠等あり就中藥草類は他省に移出せらる、額も尠少ならず又毎年吉林森林内にて捕殺せらる、豹は二千頭に上り熊は到る處の森林に於て捕獲せられ虎は多からざるも毎年二十頭位は捕獲せられ其の皮にして完全なるは百五十元より三百元にて賣買せらる其の外野猪、豺狼、花鹿、馬鹿、狐、山狸、水獺、貂等多く産し眞珠は松花江上流及び各支流に産し牡丹江と其支流は古來眞珠を産するを以て名ありと

◎平元線敷設

陳情書提出

平壤元山間の鐵道敷設に關しては先年の輿論大いに昂まりしも近時に至り漸やく世人より忘れられんとする傾向あるに鑑み先般府尹會議の爲め入京せる村地元山本田平壤の兩府尹協議の上平元線速成の陳情書を此程當局に提出せり右に就き當局の談を聞くに平元線敷設に關しては目下同方面に技術官を派遣し調査中にて從つて其報告の結果を俟たざれば敷設す可きや否や言明するを得ざれども要するに大正八年度の豫算に敷設費を計上する運びには至らざるが如し

◎金嶺鎭鐵山

政府自ら經營

山東鐵道部長阪口新圃氏は六日朝門司に著したるが氏は語りて曰く今回の上京は山東沿線金嶺鎭鐵山經營に關する打合せのためにて政府は當初民間事業家に託して經營せしむべく歩を進め該後には大倉組との間に交渉を開始し過日大倉喜七郎氏來たり種々調査し又接衝せしも、ありたるが終に意見の一致を見る能はずして手を引きたれば

△政府自身 これが經營に當ることに略決定したれば一箇月以内に事業に著手すべし此金嶺鎭の鐵山は獨逸人が頗る有望なりと大袈裟に吹聽したるため邦人の間にも實價以上に信ぜられ居れるも同鐵山の鑛質は上層に於てこそ相當優良なるものあれど近邊多試錐又は試掘の結果によれば其深く採掘するにつれ製鐵上忌むべき硫黄分の含蓄を增加するもの、如し左れば之て必ずしもこれが爲に製鐵に適せざるに至るにはあらざるも假令幾分其質の粗惡となるにもせよ鑛區の廣さ二里に亙り居り如何に採掘するも二十

△二十年にて 缺乏するに至らざるべく政府としても充分收利の目的あり之に要する經營費は先づ年間二十五萬圓位なるも先づ政府事業たる八幡製鐵所にても如何程の需要あるかを決定せしめ然る後殘額を東洋製鐵等民間經營の製鐵所に拂ひ下ぐる事となるべく豫想する所にては四川炭坑の如きは今より日千四五百人を使役し平均毎月五萬噸を採掘し居れるが今や恰も農繁期に會し居れることて其數約千人に減少し居り彼等の一日の勞

△二十五錢 乃至三十錢に過ぎず且つ山東は人も知る如く勞働者の産地なれば何時にても得らるべきもの、斯かる農繁期等には坑夫の爭奪戰行はれ居れるが此の點に於て日本人の手に其の出炭を買受け居れる四川炭坑の如きは三錢增しにすべしと雖も此三錢にして政府の切り詰めたる豫算に勞働者を使役する者等には屢々打擊を受くることもあり山東鐵道沿線には棉花落花生雜穀類其他種々の産物少からず從つて青島に於ける新設セメント製粉等種々の大工場の續々設立されつ、ありて今後

△更に一層 の進展を見るべく中にも現にある製粉會社の如きは需用夥多なる所謂支那粉を利用せるものにて内味は他の原料に劣るも當て賞味はこれが色素に利用しその販路頗る廣し（門司）

◎定例長官會議

八日午前十時より總督府第一會議室に於て定刻長官會議を開き各部局長官等參集重要政務に就き審議せり

◎諸官署暑中休暇

總督府にては七月十一日より九月十日迄の間に於て例年の通り事務の繁閑により諸官署員に對し暑中休暇を賜ふ旨仰出されたるにより其旨告示せり依て同期間各官廳の勤務時間は午前八時開廳正午退廳の事となる可し

◎京城下水工事經過

京城府にては府の一大事業として市街を貫流せる淸溪川及び旭川の幹支流の大浚渫修築工事を施し毎歳繰返す沿岸一帶の出水汜濫の慘害を除去すると同時に一面市中各下水溝の

▲疏通を完全 ならしむべく企劃し以て京城府多年の懸案たる下水問題の根本的解決を爲すべく之れが實施設計々畫を樹立し今大正七年度より大正十一年度迄五年間の繼續事業となし工費總豫算六十萬三千圓を計上し總豫算の半額即ち三十萬零五百圓は國庫補助に俟つこと、なし而して同大正七年度の國庫補助割當額は六萬零三百圓を計上され既に第四十議會の協賛を經たるが而かも京城府が前記

▲國庫補助 を控除し殘餘の按配編成せる本年度割當工事豫算の内譯は合計十二萬六百圓の内の六萬零三百圓の内四萬五千三百圓を起債の方法に依り京城府に於て負擔し其の餘の一萬五千圓は地方費の補助を受くることゝなり居れり以上の如く設計され豫算の編成を見たる京城府下水工事施設は本年四月より工事に著手すべき順序となり居るも未だ之れが工事に著手せざるが右に就き府當局の語るところを聞くに該下水工事豫算は今七年度より五ヶ年の繼續事業として計上されあるも實は大正四年度に於て當時の

▲調査材料に 依り編成せし豫算なるが時局の影響を蒙り材料入手困難となり延びて漸く本年度より實行し得るの運びに至れるも今日に於ては該豫算を以て到底既定の工事設計全部を遂行すること不可能に屬せり即ち事情は斯くの如しとせば勢ひ右豫算内に於て最も有効にして府民大多數の利益たる局部工事を爲さゞるべからざるに歸結するを以て目下之れが實施設計畫中なりと云へりされど府當局は昨年度も五千圓の下水工事調査費を計上して調査設計に資したる事もあり本年度は一日も早く設計完了の上工事に著手されんことを望むと某消息通は語れり

◎哈爾賓露貨預金利子引下

鮮銀正金兩行利息改正理由 鮮銀當局者談

朝鮮銀行哈爾賓支店並に正金銀行哈爾賓支店にては五日より留預金利子の改定實施を行ひたるが

▲その新率 は小口當座並に當座預金は無利子とし定期預金は六箇月以上年二分に引下げたり右に付鮮銀當局者は日く（一）露國「留」の大增發と國情の混沌不安なることはその「留」の預金を非常に增加しつゝあるが將來も亦一層增加せんとしつゝあり然も國情は目下の如きためその確實の放資口を見出すに困難なりこれ預金利下の必要を來せり（二）昨年來露貨の高低度なきため鮮銀金券の流通盛んに起り日本向

▲爲替受拂 の如き殆んど金本位に傾きつゝあり從つて露貨の需要は一層減退し居れり（三）哈爾賓の露國銀行中の親銀行とも目すべき露亞銀行が先月來當座的預金には利子を附せざる事になりし從つて露人の預金は從來の率たる當座一分小口當座二分定期三分を維持せば水の低きにつく如く鮮銀正金に集まり來らんとするため權衡上よりもその

▲引下を斷 行せるが影響としては「留」の手持筋が若干不利を受くるは免れ難からんも銀行としては放資に乏しき預金を無制限に託せらるゝも困る譯なり尚ほ

▲金の預金 は滿洲各地と同樣の利子を附し何等今回の「留」預金利子改定と伴はず

◎激增せる六月貿易

合計・二千四百十萬圓 累計・一億二千五百萬

六月中の朝鮮各港貿易額は輸移出一千三百五十八萬餘圓輸移入一千五十二萬餘圓合計二千四百十萬餘圓にして前年同月に比し輸移出五百三十八萬餘圓輸移入三百九十三萬餘圓合計九百三十一萬餘圓に增加せり而して一月以降

▼累計貿易額 は輸移出五千七百九十二萬餘圓輸移入六千七百七十三萬餘圓合計一億二千五百六十六萬餘圓にして出入の權衡は入超九百八十萬餘圓を計上し之を前年同期と比較すれば輸移出二千二百六十七萬餘圓輸移入二千百四十萬圓合計四千四百八萬餘圓の增加なり次に貿易の内容に就き前年同月と比較するに輸移出貿易に於て米は支那及露國仕向共依然不振を免れざると雖も移出は内地に於ける市價の漸騰と市場同著の稀薄とに因り前年の不況に反し出荷頗る盛況を呈せしを以て差引數量九萬七千餘石價額二百九十四萬餘圓の

▼激增を示し 魚類は馬山近海に於ける鯖の豐漁に因り五十八萬餘圓を增加し其他人參七十八萬餘圓棉花四十萬餘圓鰯三十三萬餘圓銅塊十七萬餘圓海藻類十三萬餘圓等增進の顯著なるものにして減少せるは大豆二十五萬餘圓小麥八萬餘圓皮革製品十三萬餘圓等に過ぎず結局前記の如く未曾有の移出額を算するに至れり輸移入貿易に於ては米は相場の不引合及び貿行不振に基き外米の入荷杜絶の爲三千萬餘圓を減少し綿布類は氣配硬調に際し兎角買控への傾向ありて生金巾類七萬餘圓を增加せしも外晒金巾類天竺布綿繻子等

▼十七萬餘圓 を減少し其他支那麻布三十一萬餘圓銅鐵十四萬餘圓爆發物十五萬餘圓の減退を示せるも鐵も引續き事業用品の輸移入熾盛にして熟鐵十一萬餘圓機械九十三萬餘圓石炭五十七萬餘圓木材類及びセメント十一萬餘圓諸機械及び同附屬品二十一萬餘圓を增加せしのみならず一般需要の增進と市價の騰貴とに基き洋紙其他の紙類二十四萬餘圓を增加せしに因り引續き巨額の增進を示せり六月分の全輸移出入重要品に就き六月分及び一月以降累計の前年比較を示せば左の如し

▲輸移出重要品（△印は減少 單位圓）

品名	本年	前年	增減
米	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小麥	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]
其他豆類	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鮮乾鹽魚介	[illegible]	[illegible]	[illegible]
人參	[illegible]	[illegible]	[illegible]
棉花	[illegible]	[illegible]	[illegible]
繭	[illegible]	[illegible]	[illegible]
金鑛及沃鑛	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐵鑛	[illegible]	[illegible]	[illegible]
重石鑛	[illegible]	[illegible]	[illegible]
黑鉛	[illegible]	[illegible]	[illegible]
含金銀粗銅	[illegible]	[illegible]	[illegible]
石炭	[illegible]	[illegible]	[illegible]
銅塊及錠	[illegible]	[illegible]	[illegible]
牛皮	[illegible]	[illegible]	[illegible]
皮革製品	[illegible]	[illegible]	[illegible]
煙草	[illegible]	[illegible]	[illegible]
生牛	[illegible]	[illegible]	[illegible]
海藻	[illegible]	[illegible]	[illegible]
其他諸品	[illegible]	[illegible]	[illegible]
國境輸出	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲輸移入重要品

品名	本年	前年	增減
米	[illegible]	[illegible]	[illegible]
粟	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小麥粉	[illegible]	[illegible]	[illegible]
食鹽	[illegible]	[illegible]	[illegible]
砂糖	[illegible]	[illegible]	[illegible]
石油	[illegible]	[illegible]	[illegible]
綿絲及打綿	[illegible]	[illegible]	[illegible]
綿織糸	[illegible]	[illegible]	[illegible]
生金巾生シーチング	[illegible]	[illegible]	[illegible]
晒金巾及晒シーチング	[illegible]	[illegible]	[illegible]
天竺布	[illegible]	[illegible]	[illegible]
綿繻子及綿イタリアン	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日本木綿	[illegible]	[illegible]	[illegible]
支那麻布	[illegible]	[illegible]	[illegible]
毛織物	[illegible]	[illegible]	[illegible]
絹織物	[illegible]	[illegible]	[illegible]
洋紙	[illegible]	[illegible]	[illegible]
其他紙類	[illegible]	[illegible]	[illegible]
熟鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐵板及管	[illegible]	[illegible]	[illegible]
軌條及同附屬品	[illegible]	[illegible]	[illegible]
諸器械	[illegible]	[illegible]	[illegible]
煙草	[illegible]	[illegible]	[illegible]
生皮及熟皮	[illegible]	[illegible]	[illegible]
木材及板	[illegible]	[illegible]	[illegible]
石炭	[illegible]	[illegible]	[illegible]
銅鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
叺繩及筵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
マツチ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
爆發物	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小包郵便物	[illegible]	[illegible]	[illegible]
其他諸品	[illegible]	[illegible]	[illegible]
國境輸入品	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◎鮮銀株不味

買進みの反動

朝鮮銀行株は六月に入つて本店に於ける重役會議の開會あり一般に

▲增資說喧傳 せられしたゝめ下旬には百八十七圓五十錢（百圓拂込）の高値となりしを二三ヶ月前に比すれば約卅圓方の騰落を示したるが月更り後市場の歩調を辿り昨今京阪市場の取引値は舊株百七十八圓新株百七十七圓五十錢を唱へ前月の高値に比し約十圓方の下押しを見たり其の原因が那邊にあるやと云ふに鮮銀の業績は漸次擴大し銀行界の花形たるの實質は何等異なる所なく株價の不味を來すべき

▲材料は内部 に存在する筈なきも唯六月の高値百八十七圓五十錢は增資二千萬圓說乃ち子株一株に付一株半みを見越せる買進みと某々大手筋に於て同行株二三千株買收計畫あり市場に買物あれば幾干にても之れをさらはんとせし等の事情によりしもの、如くその後增資の成行いかに推移しつ、あるやは明かに知り難きも鮮銀行の增資が二千萬圓より三千萬圓に乃ち一千萬圓なりし前例と大藏省が特種銀行の增資に稍消極的態度をとるらしき等を以て彼是より鮮銀の增資も一千萬圓ならんとの見當を附たるが買進みの反動を招き株價の不味を現はせし者ならんと

朝鮮殖銀彙報

▼鮮内應募奈何

朝鮮内各主要銀行本支店にては去十八日より殖銀株の申込受附を開始したるが鮮内の應募力如何に付某有力銀行家は日く朝鮮内にては近來富力の增進著しきため物價騰貴より來る生産の增加あれど鮮内の財力は必ずしも侮るべからず故に鮮内五十餘箇所の金融機關が適當にその持株を各方面に勸誘する事とせば案外應募多かるべきかと思はる殊に申込の株數に單位を置かず一株にても應募し得る事としたるは朝鮮人を網羅するに適せりと稱し得べし

▼大口申込多し 内地朝鮮滿洲支那に亘り法人並に個人有力者にして大口申し込みをなさんとするもの少からざる模樣なり

◎京電今期成績

京城電氣會社の本年上半期營業成績は此程全部の決算を終了し九日京城支店に於て幹部會議を開き審査の上本店に突附すべしと而して今期營業成績は概して前期より良好にして電燈收入四十九萬一千圓電車收入二十六萬圓瓦斯收入十五萬七百圓雜收入二十一千六百圓合計九十萬三千三百圓により前期より五萬圓增又支出は總經費四十一萬四

◎有松長官入京

有松法制局長官兼拓殖局長官は關出書記官を從へ九日午後七時二十五分南大門驛著列車にて平壤より入京朝鮮ホテルに投宿す尚同長官は十一兩日間滯京市内各方面の視察を爲し十一日午後仁川に赴き同地視察の上即日歸京十二日は元山に赴く筈なるが日程は都合に依り變更するやも知れずと

▲政務總監招待 山縣政務總監は十日夜有松法制局長官を朝鮮ホテルに招待すべし

▲有志歡迎會 總督府關係及び民間有志は有松長官の歡迎會を朝鮮ホテルに催すべく計畫中也

▲鮮銀午餐會 朝鮮銀行にては十一日有松長官を明月館に招待し午餐會を催ほすべし

▲荻田局長出迎 荻田總務局長は九日朝南大門發列車にて有松長官出迎への爲め京義線沙里院へ出張せり

◎立花中將歸任

八日湖水原へ出張せる立花第十九師團長は九日午後九時二分龍山著列車にて歸任の筈なり

◎阿部充家氏

前本社長阿部充家氏は愈々十日午前八時四十分南大門驛發歸東と決せり

送阿部無佛詞兄歸東次瑤韻 持地東嶺

韓山風景夢猶疑。剪燭東窓夜雨時。切後興緣未全了。雲樹西望有情馳。

送阿部無佛居士東上 玉藻 大沼泰山

高懸寒日照鮮民。垂範後昆其命新。欲護天庭君香々。封疆絕域萬鮮春。

予偶犯雨過訪伯星翁松井氏之邸見耶城中聞病翁見寄氣疾將病瘦突應晩發山河之享然而彼示平生所得之佳什山野未會文墨之高情引滿酌愛而歸翁後寄問病之趣曰

庭樹深々煙雨深。閉門叢菊感登臨。今日鑛報客相逢否。拈入禪悟欲笑吟。

予賦杜撰一絕汚高韻以答慨

衝雨訪翁感慨深。疾病錬志復酘衾。雅懷先試壺中味。邂逅唱和秋上吟。

梅雨 星翁 松井民次郎

梅天惱我在晴時。對雨吟魂細似絲。邵嵩山河漫淡色。幾回凝望起詩思。

和星翁詞伯梅雨韻

朝假蓑燃不多時。細々連天引似絲。標有梅之意愈好。靜來吟去久尋思。

送警部貧崎君赴大田

君守鮮民節危堅。一朝被選行令望。豪懷不改勤王志。耘井田分耕大田。

大阪より無佛居士へ 林一象

梅雨晴間紫陽花の色かはり行く

北海道より（十八） 天民生

札幌に札幌神社がある。依長官の話に、神社は明治二年開拓使を置かるゝ時の判官島義勇が大政官の旨を奉じ、北海道總鎭守として大國魂神、大己貴命、少彥名命の三柱を祭神とし、札幌に祭られたものである。從て其の大祭は一種の官祭でもあるので、祭政一致の國風を表明するの精神を以て本道開拓の大本とせられたのである。開拓使時代は大小の官吏必ず先づ之に參拜するを例としたのである。北海道年所を經るに從ひ其の威容漸く廢れたのは遺憾であつて、如此は先人の志に副ふ所以ではないから、本年よりは古例を復興し又道廳構内にも御輿の駐輦所を設けて、一般人士の敬神觀念を喚起することゝした云々と。之は非常に善い話であると思ふ。一寸人の氣の付かぬ事であるが、内地と隔つた殖民地などでは特に之が必要で、神ながらの道を發揮することは國民の秩序も神社を中心として風が表現すべき事である。神社の祭禮は六月十五日で本道年中行事の大宗である、町の人も村の人も官も民も擧つて歡喜する。原始的の古い立木の街路を練り行く御祭の氣分には、何とも付へぬ味がある。

茶前酒後

◎獨逸新聞は獨領南洋諸島は何處の誰が何と云つても決して渡さぬ
◎唯獨逸が目して太平洋上の樞を奪然得べき亞細亞の某國ならば可き
◎何處かお氣に召れしにや秋波を送られし令孃娘いやらお可笑やら
◎專制腐敗し無政府となり自由と放埓に世界を惱かせた上復辟現る
◎露國の支那に似し處は破壞も建設も徹底的に可燃性を有する點
◎而し武力の勝利は露支共に共通
◎露西亞も支那も水滸傳を生粹で行く處也我と思はん者は續出し候へ
◎背見代野夫第二軍の總司令として現はれしは張占元と云ふ支那人
◎西伯利を三國史演義で行かば青龍刀を振廻せば過激派も可笑
◎日本には飛ばぬ飛行機もあれば飛ぶに墜落逆轉の飛行機もあつて不人氣
◎佛には一時間百哩を突破して平然たる飛行機あり鳥渡お話に不誠
◎愛蘭田間陸市長は猛烈な反英論者は英臣民では無いと目を
◎判官汝は英國臣民かと訊ふや蘊遂に蹂躙罪で拘引され法廷に
◎愛蘭の反英熱は英國が戰敵を手古摺よりも以上英の運續苦勞也
◎露には西伯利政府や過激派政府在支那に南北議會生れんとす相
◎の餘り國體の廣きは難政の基大男總身に智慧の廻り兼は何處も同
◎の孤延程運破で拔を北方に乞ふ支那の南伐は長州征伐に似たり危

人の噂

▲前澤判事（大邱覆審法院部長）九日朝大邱へ
▲重田成興高普校長 九日朝内地へ
▲フレンチ大佐（救世軍）八日午後五中里へ
▲安藤京管運輸課長 八日午後大邱へ
▲加藤房藏氏（本社長）九日朝出發内地へ
▲金澤代議士 九日朝出發南行
▲天野群山府尹 九日朝退京
▲中村忠鎭雅川支店長 同上▲佐々木同州支店長 同上▲澁谷大田支店長 同上
▲廣平源藏氏（熊平商店主）九日朝入京

過激派の影薄し

◇青白旗高き最近の浦潮に◇

參謀武官捕縛され群集に毆らる

五日早朝浦鹽より入港せる鳳山丸船客が齎せる情報に據れば浦鹽事變後チェック、スラブ軍の一部は同市の守備に任じ一部はニコリスク方面に向つて進軍せるが同市に於ける赤衛軍は無抵抗の儘三日午後定せり赤衛軍はアラストヌイに於て約一萬のチエック軍を喰止めつゝありとの風説あるが兩軍の

◎第二回戰は 多分ハバロフスクに於て演ぜらるべく豫想さる事變當時チェック軍に對し米國軍隊よりも陸戰隊を上陸せしむべき交渉ありしも同國の態度曖昧なる爲め之れを謝絶せりとの風説あり又チェック軍が獨逸人の經營に係る

◎同市唯一の 百貨店クンスト・アルベルス及び金燕類店うンゲーチ商店を捜索中多數の兵器を押收せるのみならず潜伏せる獨逸將校數名を拘引すると共に該店兵を附して嚴重に警戒しつゝあり過激派首領株の立籠りし要塞參謀武官はチエック軍に砲撃され降服を餘儀なくするに至り遂に

◎一網打盡の 運命に遭ひ當日同軍の護衛兵に擁せられ其本部に送られし途中群集より鐵拳の雨を浴び何れも面を顰めて引立てられしのみか甚だしきは同派に同情せる婦人までが背骨の側杖を食ふに至れり斯くて過激派は本部に在りし黨員名簿をチエック軍に押收され結果同黨員は名簿に據りて日々逮捕されつゝあり斯て過激派の名の下に第ろ揚々市中を濶歩せる者も忽ち新政府の徽章たる

◎綠白の肩章 を附して豹變せるものあり又は舊政府の軍服を着用し勳章を佩て狂喜せるものあり殊に目に著しきは支那人にして彼等は逸早く店を閉ぢ五色の旗を掲げて支那國民たるを表示し尚軍艦よりも陸戰隊を上陸せしめて中立地帶を警戒したりと（敦賀）

◇戸山學校へ

御臨幸遊ばさる

天皇陛下には八日午前九時宮城御出門陸軍戸山學校卒業式に御臨幸あらせられ優等生に恩賜品を傳達せしめられ各種操練を天覽あり同十一時御還幸あらせられたり（東京特電）

◎長春行列車 火藥爆發

大石橋驛にて

八日午前三時大連より長春行列車大石橋驛停車場三等客車にて火藥爆發し支那人一名大火傷を負ひたり原因は熊岳城驛より張家子驛に赴く支那人石工の携帶せる火藥發火したるものにて取調の結果外に多量の火藥を所持し居たり因に列車の損害は輕微なり（大連特電）

◎濫江電信局長 歸船を許さる

通話中兀語を發した爲取調

既報濫江鳳山丸無線電信局長は六日午後十二時新舞鶴署より歸船を許され鳳山丸は七日午前九時出帆敦賀に回航八日午後七時浦鹽に向ふ可きが今回事件の内容は同人が航海中無線電信權を有したる浦鹽海軍無線電信所に對し無線電信にて嘲言嘲罵をなしたりとかにて海軍側の感情を害し居たりしが今回鳳山丸の入港に際し通信中兀語したるは電信法に抵觸するものとして取調を受けたるものなり（舞鶴電報）

◇漢江の增水——八日午前撮影

朝鮮白銅 ◎偽造の

兵庫警察署の土藏から發見

兵庫警察署にては梅雨明けを待つて書類の整理や蟲干しをするため此程土藏の大掃除を行つた處が黴臭い倉庫の片隅から韓國時代の

▼李花 の紋章の入つた五錢の白銅貨が二貫目ばかり入つた布製の袋が發見されたので署員は不思議に思ひ舊い帳簿を調べて見たが一向夫らしい記錄が見當らず從つた保管した理由も判明せぬので警察部に送付して種々調査する處あつたが之は多分朝鮮各地に白銅貨の

▼偽造 成金が盛んに現はれた明治三十四五年以後何者かゞ內地で偽造したものを押收したもの、當時外國貨幣の偽造に關する法律が今日の如く完全して居なかつた事とて

▼檢擧 はしたが犯罪とならず引揚げられた偽造貨幣はそのまゝ保管されて忘れられたのであらうと言ふ事に想像がついたとの事（神戸通信）

◎京元線不通（別報）

京元線高山驛附近降雨の爲め線路に故障あり八日午前十一時三十分汽車不通となれり而して鐵道電信も通ぜず詳細不明又同線洗浦三防間も線路破損の箇所あり八日中汽車不通なり

▼烏致院增水 八日夜來の豪雨頻にして附近鳥川の增水八尺新設市場浸水目下尚增水中なるも人命の負傷無し（烏致院特電）

◎東海丸か

小青島に寄港

六月二十六日以後行衛不明となりし東京商船會社の汽船東海丸（五百三十一噸）と覺しき一隻の汽船が七月三日黄海道小青島に寄航し同八日拔錨して西北の進路を執りて出帆したる形跡あり多分大東方面に向ひたるものならんとの趣き無線電信にて九日朝仁川海事出張所に報告ありたるが引續き事實調査中なりと

◎大相撲途中滯在

八日朝南大門發元山へ向け出發せる東京大相撲一行は京元線洗浦三防間列車不通となりたるを以て途中驛福溪に昨夜は一泊し目下同驛に滯在して開通を待合せ中なり

風水害

八日來の暴風雨

▼京城の被害

八日來の暴風雨にて京城市中にては古市町、花園町等に於て松の樹及び道路並木の折れたるもの二三箇所あり積善洞七十六番地の土塀四間崩壞し竹添町三丁目金華園前の大銀杏一本折れ、米化洞にて電線一箇所切れ東大門內初橋附近にて電氣會社の電線一箇所切斷されたり其の他溝渠の破損坂路の倒壞等數箇所ありたり

▼漢江の增水

浸水家屋三戸

九日午前十時半龍山元町下にて漢江の增水十二尺五寸に達し床下の浸水家屋三戸あり

▼增水十三尺 八日來の豪雨にて京畿道楊州附近にては漢江の增水十三尺に及び漣川より朔寧麻田石城等への交通杜絶し尙增水中なりと

▼交通杜絶す

春川新延江增水

江原道春川より二里漢口の上流なる新延江は豪雨の爲め九日午前七時增水八尺に達し京春の交通杜絶し尚增水しつゝあり

◎行末を案じて絞殺

不良少年を子に持つた親心

大阪府下西成郡鷺洲町鐵工岡山彌平妻照（三八）は次男源次郎（十一）を細帶にて絞殺したる上佛前に祈念し居たるを發見したるが右は次男の源次郎が不良少年にて若し此儘世に置けば如何な惡黨になるやも知れずと親心の思ひつめ心を鬼にして絞殺したるなりと（大阪特電）

◎旭家の娘

自殺未遂後聞

◇一死家庭を廓淸せんとす

既報大邱村上町旅館旭家事毛利貞助の三女とサ子（十八）——既報廿歳は誤——が大邱府內地人

▽共同墓地 に於て自殺を計りて果さざりし一件に付探聞せし處によれば同女は廣島縣の生にて昨年四月同地高女校卒業と共に渡鮮し來れる者にて、その生母はとサ子の幼時離別せられて現に內地に生存せるも斯かる事情にてとサ子は其後義母キクに養育せられたる者にて幼時より既に

▽浮世の辛 酸を甞め來れる者なるが生みの母とも賴みし義母キクも去る明治四十二年の春大邱にて病歿し現在の母は二度目の繼母なるが今の繼母の代となりてよりは家庭に紛亂絶ず種々の醜聞さへ世上に流布され居れる有樣なれば同女の身に取りては實に豫想外の苦惱ありしなるべく其や是れやにて平素より

▽大に悲觀 し居り近來は女醫になると稱し大邱元町江崎醫院宅に女中奉公し傍ら生理學を研究し居たりとの事なるが當日午前中江崎氏の不在を窺ひ藥局より粉末亞砒酸を竊に取り出して用意し置き更に午後五時頃實姉の嫁ぎ先なる村上町の某家を訪ひ遺書を遺きて

▽剃刀を持 ち出し其足にて元町の某藥店より香品一個を購ひたる儘豫て死場所として選定したる前記大邱共同墓地に到り義母の墓前に跪き香華を手向けたる上女の嗜みにと香品を頭髮に入れ更に幾多の伊達卷を以て腰部以下を堅く縛りたる上用意の

▽亞砒酸約 一瓦を服したる上前記剃刀にて左頸動脈を切らむとし長さ一寸三分深さ約二分程切りたるも死切れず苦しみ居たるが恰も墓參に行き合せたる內地人某に發見され茲に大騷ぎとなりたるなりと此の急報に接し所轄大邱分隊よりは中西軍曹綿武

▽警察醫を 隨へて急行したるが既に前記江崎醫師も馳せ付け居たる所なりしかば兩醫力を協せて應急手當を施し取敢ず江崎氏方へ運びて創所を縫合し胃腸の洗滌を爲して一先づ家人に引渡したるが醫師の言に據る時は創傷は

▽急所を外 れ居たる爲め憂ふるに足らざる由なるも果して亞砒酸を嚥下したりとせば稍々頗る危險なりと雖も果して嚥下したるものか否か不明なれば目下胃液を採取して分析試驗中なりと

西鮮お伽旅日記（一）

◇開城　淚光生

◇旅…旅…旅…旅の子にてあれば旅を戀するの情厚く、旅はこれ我故鄉、行く先き先きに、我なつかしき人々は、浮世の塵に染まぬ笑ひこそ、汚れをしらぬ純な淚こそ以て我を迎へ待てり、噫何物かこれよりも尊からん、南鮮一萬五千の我少年小女と惜き袂を別ちて歸京二週日、再び西鮮の旅に我はなつかしき笑ひと淚をたづねてお伽巡禮を續ける事とはなつた

◇夜來の雨は益々しげく我乘る汽車の窓を打つ事はげし、背くうねる野と山と田圃の間を縫ふて雨をついて走る事、三時間、開城驛に立ちしは午前十時卅六分、雨はしぶきして加ふる風さへ激し、車のホロを洩りて衣濡る、開和館に入りて疲れを癒やし午後三時、堅田小學校長の迎へを受けて會場たる小學校に到れば

◇小さき人は雨と風とをついて誰々聚くも集ひ來る各學校教師、久保田管理者、森觀、土木普通學校長、警察官等多數來聽せらるゝあつて會衆すべて三百を數ふ、三席の講演を終はれば正五時に、各位の熱心を感謝して歸れば、水備をこゆると聞く、雨小止みなく降りしきりてあられぬ。

◎お盆が來た

品物の贈答は

何うしたら好いか

中元の贈答季節が來た、九州ではこの贈答から賄賂事件すら惹き起したことゝてこの贈答も受ける者も等しく氣迷ひ、早くも中元禮廢を申合せた向もある相であるが千餘年來のこの習慣が果して破り去られるか何うか某教育家は語る。

◆◆盆暮の 贈答絶對廢止と被仰る方もありますが私は無用虛禮の贈答廢止は大賛成ですけれど總ての贈答を廢すると言ふには賛同致し兼ねます、世の中は自分一人で活きられるものでなく隨分人樣の厄介になつてゐるものでございますから斯うした機會に恩を忘れず

◆◆舊交を 溫める爲實質の伴ふ誠心から出る贈物なら寧ろ奬勵したい位でございます半襟の端で作つた紙入、餘布で作へた帶留さては自家の鷄の生んだ卵と言つたものを親戚知己に配る事は家族的な日本の國民性から見て結構な事ではありますまいか

◆◆お土產 を思ひつかない方々へから御無沙汰する挨拶と言ふ此の心持を持て欲しいと思ひます要するに此頃の贈答は餘りに虛飾に過ぎてゐませう三尺もある鯛の箱に

◆◆五六本 の鰹節を飾りたて贈物を見ても如何に今の人心が浮薄になつてゐるかゞ悲しいではありませぬか上中流の奧さん方の責任は此際特に大きいと考へます

◎自動車通ず

過般豪雨の爲め一時運轉を中止し居たる大邱慶州間自動車は八日より運轉を開始せり（大邱）

浴衣地見本進呈　希望次第　京城本町　博多土居町　紙與呉服店

◇銀盃豫想的中者

千七百廿名中より當籤決定

——賞品は十二日より發送——

本社が京人相撲京城興行中の優勝力士に贈る銀盃は誰が取るかといふ懸賞問題が非常なる人氣を以て迎へられ期日までに一萬三千七百四十五通に達しましたその中で最も多いのは大錦の千七百二十九通と三杉磯の千六百八十三通千歳ケ浦の六百四十通などで少いのは大錦、白岩などで七百內外宛ありました即ち大錦を豫想した人が的中者と認め抽籤の結果左記の人々に贈賞することゝ致しました賞品は京城の分は十二日以降に於いて本社へ御出ありたく地方の分は本社より發送します

△一等一人（サツポロビール大瓶四打入一箱）
京城本町一丁目北內商店內　山本琴月

△二等二人（サツポロビール大瓶二打宛）
安東縣大和橋通五丁目　渡邊乙松
京城旭町一丁目神崎理髮館　神崎此助

△三等三人（サツポロビール大瓶一打宛）
南山町二丁目一五菊水席▲京釜線永登浦三交農園臨旗清一郎▲龍山漢江通十一ノ三八四新井保

△四等二十八人（福袋一箇宛）
▲京城興賢洞三八金夏植▲群山大和町一九強山ていく▲馬山府都町一一畠原郡臨森山熊彦▲平壤讚業所寺洞永稔郎▲京城本町一丁目本城屋商店內木村勝吉▲仁川山根町遞信局官舍熊野忠一▲京城南米倉町京城俱樂部內山田高一▲新町都樓內久菊▲朝鮮銀行內米田太伊治▲市內長谷川町東郵事務所內伊藤ふ▲山木町一西木源太郎▲市內西小門町八十二桝山正太郎▲旭町二清水席▲穩督府總務課山村義忠・京城大和町二丁目大澤醫院內大降當▲大邱細內三輪愛心▲黃海道沙里院邑田村輝齊▲尼春商市街東十一區二五佐藤生▲江原道春川邑內イロハ旅館くら▲撫順採鑛用度課配給所橋本源吾

商況

東京期米特電

八日後場		
一信	二十四圓九十九錢	
二信	七十三錢	
三信	[illegible]	

兵庫期米特電

八日前場		
當限止	二十六圓九十錢	
中限止	二十四圓五十錢	
先限止	二十三圓六十三錢	

大阪株式特電

八日後場	拂込額	
鐘紡	三〇	—
宇治川水	三〇	—
大阪電燈	三〇	—
東洋紡績	五〇	一四〇、〇〇
合同紡績	五〇	—
鐘淵紡績	五〇	二〇〇、〇〇
同上新株	四〇	二一〇、〇〇
東洋製糖	五〇	一五二、五〇
大阪商船	五〇	一五〇、〇〇
日本郵船	五〇	—
同上新株	五〇	一三〇、〇〇
堂島米穀	五〇	一六〇、〇〇
東京株式	五〇	—
大阪株式	五〇	一五〇、〇〇

大阪三品特電

八日後場	
八月限	三四一、一〇
九月限	三四三、〇五
十月限	三四五、〇〇
十一月限	三四五、九五
十二月限	三四三、九五
九日前場當限	三四八、五〇
先限	三四九、〇〇

大阪期米特電

◎立會停止

下關期米特電

八日後場	當限	中限	先限
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
引け	[illegible]	[illegible]	[illegible]

雜報

◎綿絲布反撥 三品市場は昨後場當限三百四十一圓十錢先六十八圓五十錢と昂騰せしが今朝は米棉二圓八十錢高にて當限三百四十五圓先四十九圓と一段昂進物は告げたり現物綿布は三銘先物十一圓三十二錢五厘又他報十一圓四十錢との入電もあり何れにしても綿絲布共に人氣大に一變を示せり

◎正米依然强硬 定期市場は暴落揚句各市場殆ど賣買停止となり强氣筋の顏色を失はしめし此場合ひにて如何に頑强なる正米と雖も幾多有力なる軟材料に眩め逆行的品退する事能く買人として限月先見送りの安全なりとする故

◎期米市場の慘狀も冷靜に看過され安値には容易に手放さず各地共に案外堅き成行きを報じ居り殊に當地は品カスレと到り安思ひに向の買氣配は依然高値の儘に推移せり見當相場は日本種三十三圓九十五錢在來種二十三圓四十錢交品二十二圓八十五錢なり

◎洋紙續强硬 越月後は需要一段落せることとて相場閑散なれども植乖注文依然絶ざるため相場は更に軟化せず殊に輸出向は支那方面は銀塊の騰貴に伴れ先行一段盛況ならん形勢

越に一致人氣は先高見込の狀況となれば疲勞消化せらるゝと共に市況の硬化は免れざるならんか其內地も强硬商狀を呈せるは模造

◎燐肥値上實行 關西人造肥料聯合會は原料採算不引合を理由として過燐酸鹽度二十パーセント物二圓替曲十六パーセント物一圓七十五錢と從來の値段に對して約一割の値上げを協定し爾後固く之れが實行を決議せり然るに是迄同樣の決議も數回なせるも各會社間の競爭激甚なる爲め一回として之れが實行を見たる事なく而かも年來の禁出に過燐酸の過剩へつゝある折柄殊に新協定價格へ維持困難なるに新協定値確實に實行さるゝや否や頗る疑問なりと

◎瓜哇糖輸入 糖の內地輸入は瓜哇糖減收二時の發態及び瓜哇糖低落の諸般事情の爲め例年に比して非常の多額に上り年內の輸入約二十萬噸（內製糖原料十五萬噸）地場思惑物五萬噸以上に達せるも其大部分は六七月以後積りものにして上半期に於ける入荷は約三萬噸に過ぎざれば都十六七萬噸は今後年內に續々輸入せらるべしと

◎淸酒の値上後 淸酒は當市場に於て七月一日より一樽宛壜詰共に一圓五十錢の値上げをなすべく發表せしが取引關係其他の事情もあり當面通り一齊に決行に及ぼし難き模樣にて小賣値は愈々明十日よりも値上げを實行すべき御賞は八月一日より値上げを實行す

◎麥類は弱保合 內地大麥は出穀き出荷あるより氣配依然軟弱なるも相場は持合へ小麥は產地强硬なるが當市場は依然不味なり賣物によれば商人依然不味なり麥安は引續き弱含み取引閑散

下關相場

▲小豆は不引立 其後北海道百俵安東縣產小豆六百五十叺等の着入ありて依然賣氣の進まざる爲め賣れ行き鈍惰にして市況引立たず之れが兎々の出來値は前報同樣なり▲大豆に欠乏不振 本品は依然見るべき注文入り來らずして相變らず賣れ行きの鈍惰なるなりの爲め欠乏市況不振を極め居れ然れども別に賣り急ぎ物もなくリツが產百五十叺は十八圓四十錢に手合行はれ其他弗々の出來値は前報同樣なり▲肥料の現況 魚肥は滿朝鮮羽鰊二百二十本九州平子八二百六十俵カザギリ約六十本等の輸入に過ぎざるのみならず時分柄昨今地方筋より弗々注文の入り込み居れると肝腎の産地高値維持し居る折から手持筋には手放し氣たるもの一個もなく下に兎角高値に出殺する如き事は下に兎角高値は進取せざる由にて市況活氣なく其後に於ける出來値は新羽鰊七圓五十錢乃至十五圓同九十錢十五同上品七圓八十錢上々七圓三十五錢にて相當に取引せり

生魚市場

本日は仁川物可成りの入荷ありしも其他釜山物の外群山物の少數廻着ありしのみ▲たい二四すき二三▲ひらめ七▲はも二▲さば七▲あじ一二▲めばる二▲あわび三〇▲なかつを八

京城雜穀

雜穀類は近來商談不振の折柄殊に雨天續きにて商內殆ど皆無なり見當相場は格別變らず依然買ばんとすれば高く賣らんと急げば安しといふ成行きなり

仁川正米

▲穀は天候不良の爲め廻著なし▲正米は定期大暴落に鑑み、殆ど沒交渉の觀あるも此際買人は進まず左れども安値には賣物なく自然商內行はるゝもの稀れにて市況は一般見送り姿なり

釜山物市場 八日

▲在來保合 昨今出廻りは產地高と貨車不足とにて殊の外稀薄となり小口物のみに過ぎざれども賣物としては以前の東入品も當に現はれつゝあれども何分に相場は當日の如く强調の甚だなる故下二三歩調にあれども之れは人氣作成相場にして自然相場は手形へて安値買つけ困難なると强相相場の要を占む遊

立市場は例の貨車不足の爲め相場の推移は不安要ふべき理由にて且先き正米は依然强硬なる事とて一般見通しとの見解に…大商來米主側の賣氣雖まず安値にて賣應ぜざる事と内地期米界は豫想外の暴落を演出せるに拘らず當地米界は大した下落もなく保合同樣の商狀なりしも昨日は一昨日後場保合の寄合ありしにも買側も狼狽氣味となりしと商値は買人のなきことにて小口二十錢方の下落商狀を呈出せるべき買人とてなく只だ稍安の傾向を見るのみなりしが全朝市場に於ては更に小口買ひ氣味の品物とては一向に表出せるべきもあり大に出で…

仁川期米

引續き休會 昨日場引後に於ける各地の電報

東京一節二十四圓九十九錢兵庫前止の當限二十六圓九十錢は四圓七十六丁切の大暴落を報じたるが同一十二錢と二十四圓五十三錢先六十七錢安中限二十四圓五十錢と大暴落を報じたるが當地は府當局の方針に據り休會の趣旨を告示せり

◎仲買人集會 九日午前十時仲買人は同樓上に會合し如何にして善後策を講ずべきかを協議し左記の如く決議す…仲買人の追證金納入 全部納入の場合

▲午前二時三十分迄に總解合ひを勸誘する事
▲仲買人の再集會は直ちに今前…
▲場は休會なりしも結局總解合ひの運びに至らず…

市場雜觀

大阪大暴落停止揚句の休日明けの當市場は一節意外の大暴落にて取引所は追證整理の爲め二節以降立會の休止を餘儀なくし日節二十四圓九十九錢五節七十二錢の大暴落は東京兵庫は別項の如く先限の大暴落を報ぜり▲同日午後一時仲買委員協議會を開き取引所側との協議により後場休止の兼ねて…

仲買人に自宅に

招集し當市場の休止期間中の後始末策に付協議する處ありしが要領を得ず引續き後場の休會なかりしめたり

▲當中の小口解合又停止後肩代り等により中二十二圓二三十錢

東京及兵庫又賣買停止せる▲天候は前日來に於ける…

北濱だより

商がらしい穀物の市場は反つて下押しの形勢を見したのは又しても出兵問題の…

株式會社仁川米豆取引所仲買人　全昌　仲田 賞店　仁川海岸町三丁目　電話長一一九

仲買店　仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目

久原株　仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町　齋藤榮之助　電話三三七

食料品卸相場

品目	數量	價
鑵詰カツ子	四打入	一二〇〇
同鮭	同	一五〇〇
同イワシ	同	一三五〇
同カニ	同	一〇八〇
同福神漬	同	一二〇〇
同松茸	同	一四五〇
同東京漬	同	一四〇〇
同奈良漬	同	一九七〇
同三斤一鑵	三十本	一二五〇
同ボンアロ	六斤	一一八〇
シイタケ	一貫	一九五〇
千瓢	同	一四〇〇
糸寒天	十貫	一二五〇
若布	千本	一六〇〇
利尻一等	十貫	一二〇〇
錦太郎	同	一八〇〇
イツカ弗	同	一二五〇
片栗粉	十貫	一五〇〇
本節	同	一九〇〇
節	十二貫	八〇〇
絲鰹節	同	一七〇〇
ちりめん	同	二五〇〇
中羽白いりこ	同	二二〇〇
赤玉ポートワイン	四打	二五〇〇
三矢サイダ	同	一三〇〇
麥印ミルク	同	二三〇〇
姬印酢素	同	二八〇〇
尾ソース	六打	二二〇〇

田中全兵衛商店　仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　電話長一七

白米小賣値

一等白米　二十八錢五錢
二等白米　二十八錢

白米標準値

二十七圓六十錢

◎南大門廻穀

平澤穀一三三叺新義州小豆外四叺▲天安白米四叺大麥外五叺▲…一〇叺

各地商況

◎大邱八日の米況 大曲雨に崇られ正米も殆んど取引の小口を要せざる…

◎開城昨今の商況 …

◎豪雨南鮮を ひたる更に西朝に至り…
□募集規定
▲用紙は…
天氣　晝　但少雨

…日朝北部地方は概ね天候恢復に向…を通過して同夜日本海に進出し九…る所あるべし因に九日午前六時迄の各地降雨量左の如し（九日午前八時三十分測候所報）

…午後釜山入港常陸丸二等客 一等（二名）松山小三郎、外人一名 二等（二十五名）坂本田津、同くに智惠、村非慶助、野口巽、島村賢二、同けい、板野… 外人二名 二等（五十四名）佐新成敦、藤島佐太郎、渡邊正三郎、岩成直六郎、森原清四郎、劉準棠、阿部平松、高橋福太郎、湯山谷… 谷精輝、今井傳吉、松村龍太郎、尾崎鐵太、岩本英助、大原愛始、立花增榮、江渡勝作、熊平源誠、吉田常誠、同しん、同くよゑ、同みき子、青木啓、本田寛

▲碁表後一週間以內に到着のものは…… ▲發表後一週間以內に到着のものは… ▲呆發見通者には五十錢書籍券を呈す但何…名は京城日報編輯局碁者文藝係 ▲宛

▲「避暑とかけて」 十二日 十三日
▲一口噺「昨非」 十三日 十四日
▲下句付「夕涼み」 十四日 十五日
▲俗謠「夕立」 十五日 十六日

戰壇

東部國境の戰況

グロデコウオより受け取りたる報によるにカルイムコフ軍はグロデコウオ及び其の他の哥薩克と合體し兵力の增加と共に更に進出し戰鬪の後パロウイ驛を占領せるが過激派軍は多數の馬匹、武器軍需品を遺棄し逃亡せり哥薩克は目下尚ほ之れを追擊中にありと而してカルイムコフ軍は兵力充實の爲め更に哥薩克の動員を行ひつゝあるが成績良好なりと（哈爾賓）

ニコリスク戰鬪

ニコリスク附近に於てチツクスラヴアツク軍と過激派軍との激戰あり過激派軍の兵力はイーマン及びロパロフスクより送られたる三個聯隊なるが右の內一個聯隊は曩にグロデコウ戰線に於てカルイムコフ軍と對陣しつゝありし軍隊にして二個聯隊はニコリスク、ウスリースクに於けるものなり目下尚ほニコリスク停車場は過激派軍の手にあるもの如し（哈爾賓）

獨人の侵入防止

情報によるに新西伯利政府は獨逸人の西伯利侵入を防遏する目的にて軍隊の編成に着手す可く兵士の動員令を發したるが尙ほ西伯利政府はトムスク、オムスク並にチエリヤビンスクに新西伯利政府の執政官を任命したり（哈爾賓）

過激軍西伯利へ

ブラゴエチエンスクに於て西伯利より受け取りたる報によるに二萬五千の過激派軍は新に莫斯科より烏拉爾に向け西伯利の騷亂鎭定の爲め向ひたりと（哈爾賓）

初て滿洲を見て 意外に感ぜし事 案外遺利多し

長春に來りたる松平東拓社理事曰く

風光の好きと樹木の多き事

滿洲の旅行は今回が始めてにて只書類上や傳聞位では一向徹底した事が解らない爲め實地視察に來たのであるが奉天以南は歸途に廻はしたから未だ語るの資格なきも余の頭に感じたる滿洲は未だ十分なる締なく多少事情を異にせるも恰も新政前の朝鮮即ち明治四十二三年頃の朝鮮に於る狀態に髣髴たる如く感じられた次には沿線各地にて斯くの澤山な樹木の有らうとは思ひ及ばなかつた滿洲も決して無味乾燥とのみ云ふ事は出來ない殊に吉林の明媚なる風光は恰も母國に在る如き感を催されると同時に森林及び鑛山等の有望なることを首肯し得る事が出來る、長春の現狀を見るに發展の頗る盛んなる如きが今日の長春としては現在市街其の他の規模狹小なる段に見受けらる、我が東拓會社は今滿蒙及び南米各地に迄及び即ち世界的となりて活動する事になつたのである、滿洲に於ても漸次事業の發展を期すべきも何分手を伸ばして以來日淺きが故各種の調査を全くからざる爲め未だ充分なる活動が出來難いが近き將來に於て必ず長春或は哈爾賓等に支那出張所の設置を見るに至るであらう（長春）

關稅上の珍らしき疑議

由に迷へる犬の皮二百枚
「前回の關稅は誰が拂ふか」

平壤府壤店里貿易商韓泰源氏は靑森縣中津輕郡東目村館山萬太郎氏よりの注文を受け犬の皮を去る四月三日付小荷物として平壤驛に託送せし處其後弘前驛長より關稅率の爲め受荷主より受領せざる由の回答來り猶ほ荷受主よりも送荷者に對し同樣の通信ありしが昨今に至り平壤驛より右返送の犬皮到着したれば移入稅百餘圓は既に下關驛長に於て納入濟なれば該金額を挿込みの上荷物を引取るべしとの通牒ありしも送荷者は移入稅納入の意義を了解し難しとて此が詮議方を平壤商業會議所に申出でたれば同會議所に於ても斯る事實は調査の上ならでは判明せざるも兎に角內鮮間貿易の發展上に及ぼすべき影響鮮少ならずとなし、茲に託送の際表記價格代辨依賴の形式か、移入代理申告價格、下關に於ける移入代辨は出荷主の代理か荷受人の代理か、移入稅は出荷主の負擔すべきものなるか或は荷受主の負擔に歸すべきものなるや等に就て調査を遂ぐべく既に門司稅關長に對しても交渉を開始せしが其成行如何に依つては內鮮貿易上注目すべき問題を惹起すべしと（平壤）

天圖輕鐵線

間島天寶山鑛山經營者飯田延太郞と吉林支那人文線との合同事業たる天圖輕便鐵道は既に支那政府の許可を受け資金二百五十萬は東拓會社より借入るゝことに契約濟にて近く龍井村會寧間の鐵道工事は着手せらるべしとの事なり而して今回借款成立せし吉會鐵道は右天圖輕鐵豫定線附近を通過すべきは既定の事實にして吉會鐵道が借款本契約を成立して直に吉林會寧の兩端より工事を着手するとすれば三年以內には龍井村まで其の開通を見るべく又は輕鐵の會寧龍井村間の開通を見るは少くも一年半の日子を要すべきを以て輕鐵開通後一年半以內には吉會鐵道の開通を見る事となるべければ吉會鐵道の工事着手時期如何に依り輕鐵敷設の運命は決せらるべきなり（淸津）

國民性と生理とを應用した完全なる新體操教範

平壤中學校教諭 佐々亮雄氏談

朝鮮總督府の命に依り去五月一日より二ヶ月間體操研究の爲め東京陸軍戶山學校に於て今回改正されし陸軍體操教範に就て體操教範等の實習を遂げ尙ほ學習院、高等師範、第一第四中學他各學校の見學も終へ過般歸壤せる佐々平壤中學校教官曰く（平壤）

四月中旬總督府よりの命により專攻學科研究の爲め東上することゝなつて五月一日陸軍戶山學校へ入學して體操教練兩實科の實習を受けることゝなりました、由來我國に於る體操なるものは極めて複雜にして其の弊害も尠くなかつたのでありますが當局に於ては體育上生理學上最も之を遺憾とし須らく是が統一を圖るべく既に戶山學校體操教官の如き歐米各國に於る體育狀態視察を遂げ然して歸朝後七星霜を閲し研究に研究を重ね練磨に練磨を積み種々證術の結果遂に

◆◆瑞典式を日本人の◆◆
◆◆體格に最も適する◆◆

操に應用することゝなり在來の體操法に大修正を加へ而して陸軍體操教範なるもの生れ茲に六月二十五日を以て畏くも御裁可を得たのであります、最も本教範は國民性と學校體操とを連繫するに深く注意し最近に於る體育運動中適切なるものを選定應用し

◆◆膽力と氣力の養成◆◆

を遺憾なからしむる爲め根本的に改正せられたるものでありまして今之が要點を順序を追うて申上げると先づ基本體操としましては身體各部の完全均等なる發達を圖り身體を柔軟にして成育の不正を矯正し以て體力の基礎を確立せしめ併せて氣力を養成するを主眼としてゐるのであります又

◆◆運動の種類形式は◆◆

生理學を基礎とし其効果顯著なるものに限つて之を選定し一方には兵卒の年齡と體質の略ぼ一定せること教育期の短きと教育の繁忙等を顧慮して出來得る限り其の數を制限せられてあつて運動の方法、號令等も最も簡單な如うにしてあります、殊に筋骨のみでなく內部機關の發達に重きを置き之に關する各種の運動を網羅し且つ體力の養成に意を止むるが爲に人間生活上より來る不正發育等の弊を矯正し

◆◆消極的の改善にも◆◆

留意してありますれば教練演習の繁多な時期に臨んでも勵めて之を行ひ又時間の少き場合でも運動科目の取捨配合はよつて實行を勵行されて居る然しながら運動は隨意隨所に於て練習するの便を顧慮して

◆◆器械は總て遊動式◆◆

として然も經費の關係上助木を除き簡單な器械を制定されました、又た應用術技は兵種の性能に鑑み戰地に於て遭遇すべき各種の障礙を征服せしめ且身體の輕捷強靭及び持久力を發達せしめて基本體操と相俟つて體操の目的を完成する如うにしてあります、就中新體操教範の運動を適用して中學校生徒の發育にある者に課するは

◆◆弊害無きやの質問◆◆

でありますが決して有害ではありませんむしろ有効として用ひらるゝのであります、然れども之が適用に關しては次の如き諸項に留意しなければなりません、即ち體操教範の運動種類は大に制限せられてありますから之を身體の發達に伴ひ適當に運動の強度を定めんが爲めには運動の種類を增加することも得られます、先づ同一運動も準備姿勢の適用に依つて強度を變更し得るを以て準備姿勢を增加することも出來ま換言しますれば一二年生徒には低度のもの三四年には中位のもの五年生徒には強度のものを實施すべく總べが統一的で生理學上よりも打算した極めて完全なものであります、又學校體操とは體力氣力の養成あるのみでなく德育を加味して實施するが必要であります、其他體操と教練の連繫の密接なるは勿論智育の時に於ても特に其効果を減殺せざる樣注意せなければなりません、兎に角本教範は既に東京高等師範學習院等に於て實施されて居りますが未だ一般に實施されるのは今少し時日を要することだと思惟しますが當中學校に於ても一週間後に於ては實施する豫定であります

◆◆附言して置くのは◆◆

目下我國の兒童の體育でありますが先づ植民地としましては臺灣に於ては今を距る約十年以前に於ては生徒の身長のみ延び筋骨逞しいと云ふものが極めて少く俗にいふヒヨロ長いと云ふ體格が多數を占めて居りましたが恰度目下の內地及び朝鮮在住の生徒が漸次此傾向を表して來ました、尤も今より二三十年以前までは身長骨肉共に均衡を保ち隨分立派な生徒もありましたが現今に於ては之等平均したものが半減した如うな形勢があつて體育上、醫學上、種々學者間に於ても研究されて居る樣であります、勿論當局でも體育上強く前途を悲觀發慮した結果今回の如き教範の改正實施をされ矯正さるゝのであります（平壤）

鬱陵島（上）

鈴木慶北道長官談

慶北道鬱陵島視察中なりし鈴木慶北道長官は左の如く語る（大邱）

予は豫てより鬱陵島視察の必要を感じつゝありしが何分同島は遠隔の地に加へて交通不便なると身繁忙の職に在るとを以て今日迄其機を得ざりしが今回愈々決行したる次第なり同島の實際を見るに及んで從來の考への根本より誤り居たることを熟々感知したり、一例せば道路問題の如き只机上に於ける智識のみにては其要あらば新設すれば可なり位の考へなりしも其實狀を觀るに及んで全島殆んど山を以て掩はれ島と謂はむしろ寧ろ山の如くにて海中より奇巖突兀として聳立し道路開鑿の如き容易の業に非ざるを感得せり元來同島は何れの方面より觀るも

◇行政區劃を鳥取縣所管◇

とするを妥當と認めらる、即ち全島對內地、朝鮮相互間の距離の如きも釜山迄の百七十三哩に比し鳥取縣境港迄は百三十六哩にして約四十哩の近距離なるが上同島に現住せる內地人の如きも島根、鳥取、兩縣の者大部を占め其他同島の主要産物たる漁獲物の如きも多く內地と取引されて居る現狀にて殆ど

◇朝鮮とは沒交渉の如き◇

觀あるもそは兎も角として今回親しく全島を視察するに及んで萬般の施設改良等に就て頗る頭腦を苦しめ居れり、即ち同島の現住人口は約一萬にして內地人の數は千百九十八名なるが今回同島の生産額を見るに主要産物たる水産物の年產額約二十萬圓其他を合し僅々三十萬圓內外にして之を人口に割當つる時は

◇平均一人に三十圓內外◇

の割にして之を以て一箇年を支へざる可からずとせば誠に心細き現狀と謂はざる可からず從つて目下の狀態よりするときは同島の移住民の生活根據を確立し或は敎育の普及を計るの手段を講ずるは最も急務に屬す、左れば如何にして之が施設を爲すべき歟は

◇最も考慮を要すべき所◇

なる意見は發表し難きも元來同島は前述の如く全島山を以て掩はれ居れる關係上島民の生活本據は主として漁業にして農業の如きは地勢の關係上取るに足らず從つて

◇漁業は此島の生命にて◇

先づ第一に其方面に對し極力獎勵を爲さゞる可からず然るに同島は元全島樹木蓊鬱として海中に樹影を映じたる關係上沿岸には期せずして魚族密集し來りしもの、如く且つ鬱陵島なる文字の如きも元來其邊より出でたりと思はるゝにも拘らず其後島民の樹木を濫伐するありて全島漸く禿山と化しつゝある現狀なれば同島の

◇生命たる漁業の獎勵を◇

なさんとせば自然植林をも併せて獎勵し同時に濫伐をも嚴禁せざる可からず慶尙北道にては既に山林の濫伐を禁じ居れるが尙進んで大いに植林の獎勵をも爲す方針なれば其點に於ては漸次面目を恢復することを得べしと信ず

漢江觀火大會延期

霖雨と出水のため延期
來る廿日（土曜日）擧行

兩銀行の合併

滿洲商業銀行にては今回南滿銀行との合併の協定圓滿に成立せしが南滿銀行は資本金二十萬圓拂込十萬圓にして奉天に本店を設置し居れるが合併發表の上は多分滿洲商業銀行奉天支店と改稱すべく又滿洲商業銀行は是れを手初めとして遠からず某方面に業務の進展を見るべき方針なりと（安東縣）

新造船

艤裝 滿洲商船會社の註文に應じ西洋型五百噸級船一隻を建造せる安東高見造船所に於ては同型の第二船愈々其の工を終りたるを以て十一日正午の滿潮時を期し進水式を擧行の筈なるが進水後引き續き公會堂に於て官民有志多數を高見造船所主及び滿洲商船會社代表者として山下、中野兩取締役より招待せり（安東縣）

平北道長官

安東縣安…工事上棟式參列の爲め平安北道長官藤川利三郎氏同參與官第一部長小松第二部長及び山本參務部長は八日來安各所を視察の上一泊九日歸任せり（安東縣）

藥水は毒水の間違

自今飲用を嚴禁せらる

我國でも六玉川の中なる高野の玉川は弘法大師が毒なりと謂て飲む事を禁じたといふのは高野山中の不淨物を流下する河川であるからである、夫れと是とは相違あれど朝鮮に古來藥用せられてゐる藥水中に毒素を含んでゐるものがチラホラ方々にあるが是も其一つで大邱より程遠からぬ慶北…洞に古來藥水と稱して持て囃されつゝある溪水があつて昔から…に効驗ありと言ひ傳へ郡內は固より漆谷、星州、金泉、永川、迎日よりも數里の道を遠しとせず日々數百名の者が集つて來て飲用してゐるが、今回大邱醫院分院で過日之の爲め右の水を分析して見た處多量の硫化鐵を含有してゐるを發見したので有害と認めて去る五日該水の飲用を禁じたさうである（大邱）

釜山の諸會社

釜山の一般財界は一昨年に比較するに好況にして銀行會社何れも上半期の營業好況を呈せり

◆釜山商業銀行 上半期營業狀態は頗る順調に發展し前期に比すれば各科目共に三割以上十五割の增率を見純益金一萬五千圓餘にして充分の配當を成し得れ共基礎の鞏固を期する爲め前期同樣八朱の配當をなすべしと而して配當內譯は金八百圓（法定積立金）四千五百圓（別途積立金）金二百圓（特別準備金）▲五百圓（株主配當、年八朱）金四千七百三十一圓八十一錢…三十一圓八十三錢（後期繰越金）なり同會社は株主總會を來る二十五日午後一時より同行樓上にて開會の筈なり

◆釜山水產會社 の成績も良好にて其營業成績左の如くなり
當半期利益金は純益金五萬九千二百餘圓、總損金三萬四千餘圓、純益金二萬七千八百餘圓、其利益分配法定積立金六千圓、重役賞與金千九百圓、株主配當一萬六千八百一圓二十錢、年一割六分、後期繰越金三千百七十四圓五十九錢にして盛況を呈せり

◆釜山商船組 純益金八千六百六十九圓余、前期繰越金一千九百十四圓余、其分配は五百圓別途積立金千五百圓船價償却等に充て殘金は賞與組合員の配當とす（釜山）

米國人と鮮婦人の泣別

釜山棧橋にて

先頃の夜深い濃霧の中を高麗丸がスタートを切らうとする刹那……棧橋で米國人と朝鮮婦人との泣き別れと云ふ悲劇が演ぜられた、男は釜山でアービン君といふ元宣教師で限地開業を許されてゐるお醫者樣で女はアービン君の愛妾梁召史と云ふ朝鮮婦人！今回愈々アービン君も本國から久々居を別にしてゐた本妻が來ると云ふので何うかして愛妾の方を體よく追ひ拂ふ工夫を凝し先月末一度梁女に得心させて日本內地に遣る事にして居たが棧橋で梁女が駄々を捏ねたので御流れとなつてゐたがモウ愈々本妻の來る期日も切迫したので已むなく梁女を內地の某學校に入れて暫く勉強をさせて旁々本妻の目を瞞着しやうと企てたが扨て愈々出帆となると見送り人や乘客の前も忘れて痩形の梁女は人一倍肥大したアービン君に縋り付いて離別を惜む仕ぐさ一通りであつて何うしても行かぬといふ夫れをアービン君がキヨロキヨロし乍ら相慰めなつてゐるのを見る目も氣の毒であつた、やがて漸くの事で梁女を船に乘せアービン君は棧橋に起ち梁女は船の甲板で涙に暮れ別れを惜しんだが洪水泣別の嘆きは中々盡きさうにもなかつたが、到頭出帆の刻限が來て碇はギリギリと卷き上げられ船の上では梁女の双眼を泣き腫らしてゐる、アービン君は帽子を振つて梁女の行を送つてゐたが終に船は進行を始めたので悲劇の幕は閉されたのでアービン君は獨りトボトボと棧橋を立ち去つた（釜山）

暴風雨中に瓦斯管破裂

◆幸ひ被害なかりし◆
大雨の爲に市街に大出水

既電の如く兼二浦にては間斷なく降りしきりし大雨のため新市街の一部に出水し浸水家屋數十戶を出したるが殊に停車場通は濁水道路を沒し重量百貫餘の木材が道路上を流れ行きて一時人馬の交通は杜絕したり八日拂曉警察官駐在所より高崇警部以下所員總出にて人夫を督して排水に努めたるも如何せん午前中は大同江に注ぐ濁流市街に浸入し來り濁水と混じて水勢は反つて高所に浸入する狀況にて午後二時に至るも降雨歇まず商業は休業同樣三菱製鐵所一部作業を休止したり然るに八日午前十時降りしきる大雨中に三菱製鐵所構內に於て恰も物の破裂するが如き大音響を數回に渡り耳にせし市民は驚愕せるがコハ三菱に非ざれりと市民は驚愕…スソ三菱製鐵所溶鑛爐の瓦斯が爆發したるものにて別段憂慮すべき程の事に非ざりし爲め市民安堵せり（兼二浦）

野球雪辱戰

◆奉天軍安東軍を破る◆

曩に安東グラウンドに於て敗退したる奉天軍は捲土重來七日再び安東グラウンドにて決戰を試みたる結果七對五のスコーアを以て優勝の月桂冠は奉天軍の頭上に落ちたり

長春より啓上

◆養兵應募者頗る多し◆

過般西伯利亞の近況に關し見聞の一端に愚見を加へ御報道申上げ候處其後も經るに今日各地の狀況を顧るに色付き來れるやの觀有之候、某國の義勇兵已に今日迄に於て三百餘名の多きに達し申し候、セ軍を助けんとて滿洲里に向へるの報を聞き候尤もセ軍の興奮の爲めに軍勢百倍せる如く活氣付け敢て大局と至大なる關係無之とは云へ又事局進展上の一助とも相成るべく考へられ候

◆取締のつかぬ日本人會◆

滿洲殊に滿鐵の沿線に於て領事館區域と稱して日本人會なるものあり別に法律の定めたる處により組織せるにあらずして在留人相互の申し合せに候て領事の承認せらるのみのものなるが故に賦課金の納付を怠りたればとて國稅滯納法によりて處分せらるるものに候はざれば納めざる者には如何にも處分の仕樣もなく、尙ほ又別に獨立せるが爲に滿鐵附屬地としての恩惠にも浴せず同一地方に於て二樣別制度の下に滿鐵附屬地居住者と同樣合併せしむるか何れかの方法を講ずるの必要あらんかと存ぜられ候

◆雨が多過ぎて困難す◆

當地の昨今は滿洲中の降雨を一手に引受けたる如く連日の降雨には何れも閉口致し居り候、此の樣子にては農作物に非常なる惡影響あるべしとして何れも杞憂をなし居り候、殊に東支沿線より南下し來る大豆は約三割方雨水に浸され發芽致し居る樣狀に候

東京大相撲
京城日報御愛讀者にして此割引券御持參の御方は卅錢の木戸料を廿錢に割引致候
木戸割引券
（仁川興行中）
後援 京城日報社

演藝案內

天然色活動寫眞會社京城常設一手代理店
電話二六三七・二六六 黃金館
○七月五日より新築二週年記念特別興行
▲活劇『火中の長居』…
▲米國…活劇『…』…
▲…

京城小林商會 一手代理店
ミニアブサル社特約
早川演藝部直營 活動寫眞常設館 有樂館
◎滑稽喜劇『自動車成金』全五卷
……

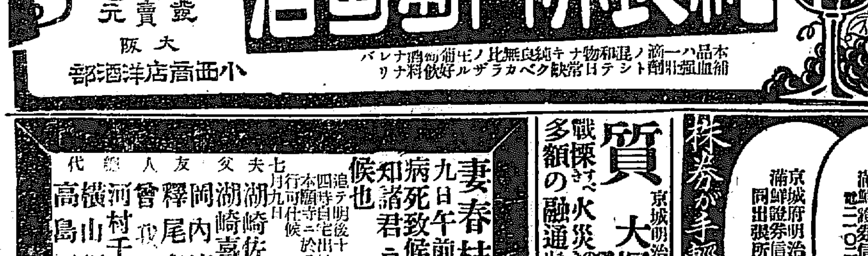
櫻井町 電話八七三 大正館
○七月五日より…
…『ダイヤの一…』…
◎世界最大戰爭劇『國難』…
……

明治町二丁目 電話二六〇番 浪花館
▲京阪落語樂會一行 從來の一座へ更に數名新加入仕候
△落語、音曲（笑三）△落語（遊玉）△落語、手踊（遊三）△落語、手踊（木鶴）△落語（花丸）△落語（圓洲）△大切座員總出手踊
◎入場料は特に從前通り大勉强

京城本町 電話一〇五〇 壽館
▲現代自然の滑稽劇 新派喜劇 桔梗家吉右衞門一派
當る十月七日より
▲一番目新喜劇 黃金の罪 全二場
▲二番目 喜劇俠藝妓 全二場
▲三番目 新社會劇 …

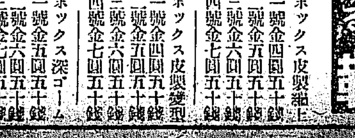
京城壽町 電話五七八 壽座
當る七月十一日初日 狂言
小島乙子九堂氏脚色 …
……
外數名

▲流行燈籠
▲特價金拾圓也▼
▲送料鮮內十二錢外三十錢
◎純毛にして新流行縞物四種
◎世間ありふれたる內地製品にあらず
英國製にして「シワノヨラヌ」事
右非常の好評殘部僅少と相成候間至急御注文願上候
京城太平通り一丁目
京城日報社代理部
振替京城一六〇〇九番、電話長六〇〇九番、…



◎外務社員募集
居住地に於て爲し得る業務月收多大且特別優遇す希望者は最近の履歷書封入本社庶務部宛申込ありたし
東京市麴町區內幸町一丁目六番地
大日本國債合資會社

安心の出來る靴
ボックス皮製編上 一號金四圓五十錢 二號金五圓五十錢 三號金六圓五十錢 四號金七圓五十錢
ボックス皮製變型 一號金四圓五十錢 二號金五圓五十錢 三號金六圓五十錢 四號金七圓五十錢
ボックス深ゴム 一號金五圓五十錢 二號金六圓五十錢 三號金七圓五十錢 四號金八圓五十錢



右は精撰せる材料と熟練せる技術を以て入念に調製し一般御注文に應じ候靴の種類代金及び足型見本御送付申上候
東京府廳御用 日野製靴店
東京京橋區…

株主となる捷徑
最も輕便にて賓益と趣味に富たる方法にて各株式現物販賣
大連市三河町三九 滿鮮證券信託株式會社
京城府明治町二 滿鮮證券信託京城支部
仁川宮町 同出張所
株券が手輕に買へる

質 大塚質店
京城明治町一丁目
電話一八四九
戰慄すべき火災の防備に完全なる倉庫あり
多額の融通り御便宜を圖る

妻春枝儀
九日午前五時病死致候間辱知諸君ニ謹告候也
追テ明後十一日午後四時自宅出棺若草町本願寺ニ於テ葬儀執行可仕候
七月九日
夫 湖崎佐次郎
父 湖崎喜三郎
友人 岡內淸一
　　 釋尾春芿
　　 曾我勉
親戚代 河村千治
　　 横山彌三郎
　　 高島周祐

塚原卜傳

第百三十一席　悟道軒圓玉口演

佐竹彈正左衛門義胤、子息長一郎宥胤伊達家の一族同苗兵庫の介綱勝の娘と縁組なし、其輿入れの後伊達兵庫の招待にて義胤親子奥州松島を遊覽のため岩城の城下を打立つといふ事が熊吉の耳に入りましたから大に喜び、之れこそ天の與ふる機會、仲々岩城の本城へは如何に小太郎殿なりとも斬入る譯には往かぬが用心嚴重なればこそ旅行の途次なればさしたる事もあるまじく、途中に於て待受けて打取るに難き事もあるまじと考へましたから早速之れを箕輪に居る小太郎の許へ通知しやうと思ひ定めました、茲で筆を執つて委細の事を記し、此の書面を箕輪へ送り猶彈正出立の日時が判然れば重ねて通知をするといふことを書添へて遣はしました、塚原小太郎は箕輪なる上泉の道場に居りまして熊吉の便りを待つて居ると此書面、開いて見れば右の次第でありますから大いに喜び早速一同にも話して其後便りを待つて居ります、此方は眞壁の城にある彈正斯ることゝは露知らず、子息長一郎の婚儀を急ぎ、翌八月十五日に奥州より伊達兵庫の娘八重姫輿入れがありましたから城中上下萬歳を稱へ三日間無禮講の饗應があつて出入の町人に至るまで酒肴の振舞がありさて婚姻も滯りなく相濟んで愈々彈正父子伊達家と親戚關係に相成たに依て其招待を受て奥州名代の松島を遊覽の爲出立するといふ事に相成りました。其出立の日は八月二十二日との事、熊吉取敢ず書面に認めて城下の飛脚屋長兵衛といふ飛脚屋に賴んで箕輪に送りました、自分は馬廻りの役であるから幸ひ彈正の側を去らぬ、イザといふ時には彈正を取つて押へて充分に塚原小太郎に仇討をさせやうといふ考へであるから相變らず如才なく彈正の氣に入るやうに立廻つて居る、彈正もまた熊吉には氣を許して更に疑ふこともなく身近く召使つて居る、スルト茲に此度の婚姻に就て喜びの使者として來て居る小田原北條の家臣近藤出羽守の家來で石塚十左衛門之れが或日彈正の側で物語をして居ると彈正が端なく難波の山狩の話をして小松四郎兵衛の大力の事を物語ると十左衛門が是非其人物に逢ひたいといふ、茲で四郎兵衛の熊吉を呼んで對面させた、十左衛門ジッと見て居たが熊吉が退出すると彈正に『那者は決して油斷なりませんぞ、御用心あつて然るべく』彈『ハア、何故でござるな』十左『されば其樣な怪力の者が此世の中に多くあるものでない、先年御當家の賴みに依つて小田原の石牢中に捕へ置きし塚原小太郎、然るに或風雨の夜何者とも知れず城内へ忍び入つて石牢を破り、小太郎を盜み出だし何國へ行きしか行方知れずそれはとも角石牢の大石を以て打破りしは餘程の怪力の者でなければならぬ、しかも城内の案内知つたる者なれば恐らく相模伊豆兩國の者と察しましたが今の小松某とか申す物の言葉は正しく伊豆の者、ごう考へて見ても怪しい人物、若しや塚原一味の者が姿を變じ名を僞つて當家中へ入り込んだものではござりませぬか、仲々油斷なりがたき時節左樣の者は成可側近くお召し使ひなさらぬ樣專一でござる』彈正打笑ひ『御親切忝けないが小松四郎兵衛は左樣な者ではござらぬ、一目見ても判る愚直な性質、彈正が心を許して召し使ふ位であるから決して心配な人間ではござらぬから御安心下さるやう』と一向取上る樣子もないから石塚十左衛門張合拔けがして其場は口を閉ぢたが何うも心に濟まぬと見へ彈正の近臣柏木一角に耳打をすると一角ニッコリ笑つて『其儀は拙者も疑うから氣付いて居りました、實は斯樣々々致す所存で』と何か之も耳打をした。

簑と笠　龍山三角地公園前　卸小賣　金川商會　電話六四八番

◎大田と遊廓

◇風紀上と衛生上◇　漸く確定したる敷地（續）

▼敷地の高いと廣いとは直ちに遊廓經營者の營業費に關係を及ぼすは自然の勢ひであつて、營業費が膨大すれば嫖客に要求する遊興費も亦膨大し、延いては遊廓の繁榮を阻害し遂には私娼即ち密淫賣の跳梁を餘儀なくするに於ては風紀衛生上の取締りが自然に繁雜に流るゝ憂ひを伴ふものである、要するに敷地を現在の場所に決定する迄には種々の方面から愼重の研究と調査を遂げたのであるから市民諸君に於ても其間の消息に就ても諒とせられん事を望む次第である大田遊廓も追々地均や其他の工事に着手するであらうから先づ來年末迄には大田遊廓も出來上る事になると（大田）

◎四平街通信

◆外事總長去來　隴山外事總長四日公主嶺より來着四鄭街道にて鄭家屯視察の途につく同地は近來の降雨にて停車場と市街との中間道路泥濘極めて深く車馬を驅る能はず交通頗る不便にして支那馬車の轉覆する事屢々なりと云ふ支那官憲は二萬元を投じて改築の議定なるも道尹更迭を俟つて着手する事とせりと云ふ一行は此難路を通過して舊市街の領事館に入り視察を遂げ五日四平街に歸着せり當地官民重なる人士植半旅館に是れを迎へ晩餐を共にす而して午後三時二十分發車にて南行す

七月十一日　九星
舊六月四日己未
本命八白艮並先負
[illegible]

新築落成

クラブ白粉 歯磨 洗粉 本店及工場 移轉（六月廿二日より）

業務擴張 新築落成

總務部　營業部　廣告部　輸出部　工務部　出荷部

各位の深厚なる御同情御援助に依り、クラブ白粉、クラブ歯磨、クラブ洗粉を始めクラブ各種化粧品の商況近來益々隆盛を加へ、擴張又擴張、從來の營業所にては手狹と相成候爲め昨年來本店及び工場の新築に着手致し、今回愈々竣成仕り候に就ては左記新營業所に移轉仕り、六月廿二日より同所に於て執務致し候間、此の段謹告仕り候。

大正七年六月廿二日

大阪市南區水崎町

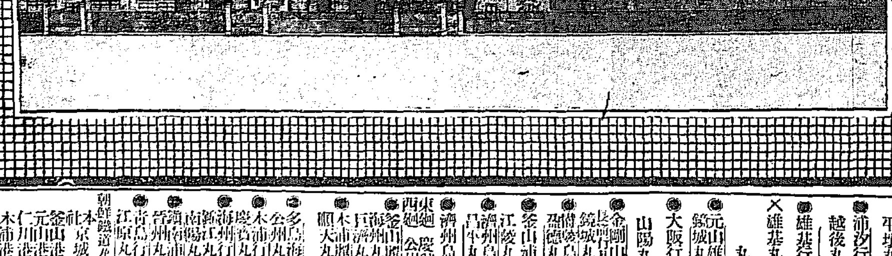
日常品　クラブ白粉　クラブ歯磨　クラブ洗粉　製造本舗　中山太陽堂

改正電話　南　長三六五〇番　長三六五一番　長七一〇七番　長七一〇八番　長七一〇九番

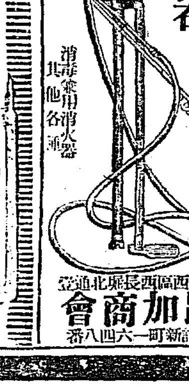
振替口座大阪第二三四番

尚　中山化學研究所（電話南六六三）及中山化粧品製造所（電話南四八六七）は同町内、東京營業部、廣告部、庶務部は京橋區[illegible]（電話京橋一二二一及二七〇〇）に有之候

【新築の中山太陽堂本店正面圖】



路加式噴霧器



消毒並用消火器　其他各種

大阪西區長堀北通　路加商會　電話新町一六四八番

淋病內服藥 ゴノチール

Gonothyl

極メテ合理的ニ創製セラレ最卓越セル治淋劑トシテ益々醫界ニ賞讃セラル

一容器　三十球入　六十球入　百球入

發賣元　西村藥林社

◎各地有名藥店ニアリ

新荷着　銘仙ゆかた地

輕くって涼しいその着心地を味ひ給へ

◇白地、かすり、縞、格子類及び薄色地で　一反 金拾圓より金十二三圓迄　●送料 市内十二錢 郡外三十錢

◇地方よりの御注文は男女年齡柄向きの御嗜好等御申越し下されば必ず適當の柄相選み代金引替を以て御送り可申候

京城太平通一丁目　京城日報代理部　振替京城三〇〇番

梅雨明けの酷暑に 飲む程元氣を增す

類似品あり　赤玉印に御注意

美味滋養の葡萄酒　赤玉ポートワインを欠さず召上れ!!

七大醫學博士の賞讃と證明を有する赤玉ポートワインは美味滋養の葡萄酒にして其豐富なる營養分は健胃、興奮、補血、强壯の目的を完全に達せしめ一杯毎に新しき血と肉をつくり殊に夏向の健康保全に朝夕一杯づゝ召上れば病氣知らずで夏を過す事が出來る

特に斯の如き人は直に赤玉ポートワインを召上れ

▲血色の惡い人　▲精力衰退の人　▲活氣のない人　▲胃腸病の人　▲病後保養の人　▲夏やせする人　キット利目がある

汽船 釜山出帆廣告

◎元山、西湖、新浦、城津、淸津行　第三平安丸　七月　日後四時出
◎門司、宇品、神戶、大阪行　第三琴平丸　七月十五日後四時出
◎佐須奈、嚴原、博多行　天與丸　七月四日午後十時出

釜山港埋立新町　木船取扱店　大池回漕部

大阪商船 汽船出帆

神戶、大阪行（仁川出帆）　△友康丸　七月廿二日　後五時出
群山、大阪行　×安東丸　七月十一日　後五時出
◎淸津行（元山出帆）　平安丸　七月十三日　後十二時
◎釜山、門司、宇品、神戶、大阪行　安平丸　七月十九日　後九時出
◎上海、基隆、打狗行（大連出帆）　湖北丸　七月十二日　前六時出
◎基隆行　北條丸　七月廿四日　後四時出

內地各港出帆ト要航路

歐洲行 一年四回　南米洲行 一年四回　濠洲行 毎月一回　北米洲行 毎月二回　孟買行 毎月二回　南洋行 毎月一回

御注意　◉外國航路ノ船客ハ航路ニ依リ五分引　[illegible]

大阪商船株式會社仁川支店　電話二二一〇番 五五〇番

切符取扱所　內國通運會社京城支店　京城　仁川　[illegible]

尼崎汽船出帆

下關、大阪直行　第一大湖丸　大有丸　月　日後四時出
群山、下關、神阪行　君が代丸　月　日後四時出

仁川海岸通三丁目（電話五九番）　髙杉回漕部

朝鮮郵船出帆

天候其他ノ爲發着日時變更スル場合有之ニ付詳細ハ本社又ハ各地支店出張所代理店取扱店ニツキ御承合被下度シ

教賀行　淸津發城津元山經由　平壤丸　七月十二日 淸津發　七月十五日 元山發
◎浦汐行　大阪發門司釜山元山城津經由　越後丸　七月十五日 釜山發　七月十七日 元山發
◎雄基行×　關門發釜山各港經由　×印江原道各港寄港セズ　×雄基丸　七月十四日 釜山發　七月十七日 元山發　丸　七月　日 釜山發　七月　日 元山發
◎元山雄基線　元山也黙各港經由往復　鏡城丸　七月十五日 元山發
◎大阪行　浦汐發淸津城津元山釜山關門經由　山陽丸　七月十二日 元山發　七月十四日 釜山發
◎金剛山遊覽便　元山發長箭石亭經由　長箭行（六月至十月五ヶ月間）　鏡城丸　七月十三日 元山發
◎鬱陵島行　釜山發浦項及各港經由　瑞穗丸　七月十七日 釜山發
◎釜山浦項線　釜山發長生浦方魚津丸　江陵丸　毎日釜山浦港發
◎濟州島行　釜山長承浦麗水巨文島經由　昌平丸　七月十六日 釜山發
◎濟州島行　東廻ハ所安島經由　西廻ハ楸子島經由　東廻 慶興丸 七月十六日　西廻 公州丸 七月十九日　木浦發
◎釜山麗水線　海州丸　統營丸　巨濟丸　毎月 釜山麗水發
◎木浦麗水線　順天丸　七月十二日 木浦發（以下三日目毎ニ木浦發）
◎多島海行　木浦發多島海各島行　公州丸　七月十四日 木浦發
◎木浦行　仁川發各地經由　慶興丸　七月十二日 仁川發
◎海州行　仁川發江華島喬桐島經由　新江丸　南陽丸　毎日一回 仁川海州發
◎濟州島行　仁川發各港經由　晉州丸　七月十八日 仁川發
◎南鮮行　仁川發各港經由　江原丸　七月十三日 仁川發

朝鮮鐵道外船ト荷客連絡運送ノ便有

本社　京城南大門通　電話一九五一・一九五二・一九五三

釜山港佐藤町 支店　元山港海岸通 出張所　仁川港 代理店 堀 回漕部　木浦港 代理店 山野 回漕部

京城南大門驛前　取扱店　松原運送店　電話長二七〇番

其他各寄港地ニ取扱店アリ

汽車發着

京釜線（南行）　南大門發　龍山發　永登浦發　水原發　大田發　[illegible]
同（北行）　釜山發　草梁發　三浪津發　大邱發　[illegible]
湖南線（南行）　[illegible]
同（北行）　[illegible]
京義線（北行）　南大門發　龍山發　金村發　開城發　[illegible]
同（南行）　新義州發　安東發　定州發　[illegible]
兼二浦線　支線　[illegible]
京仁線（仁川行）　南大門發　龍山發　永登浦發　[illegible]
京元線（北行）　南大門發　龍山發　[illegible]
同（南行）　[illegible]

京城日報　第五版
電話 二六〇〇 二五〇八 二三〇二 五五　二五、三〇 二三、四八

[illegible]漁業協約により一切の魚類及び水産物の捕獲採取權を獲たるものなるが其後該方面の漁業は逐年發展[illegible]正の期に達せ[illegible]れば當業者に於[illegible]前途につ[illegible]あり農商務當局に於て該協約が[illegible]居れる[illegible]も事業經營の[illegible]念慮を懷ける[illegible]は亂れて[illegible]の如く[illegible]何人を[illegible]て條約商議相手とすべきかさへ判定するに苦しむ有樣なれば依然現狀の通り露領北日本派オコツク[illegible]

●金融益緩和

[illegible]同日は[illegible]て資金の引出あ[illegible]明末放出金の回收さるゝと共に各銀行は之を日銀借入金の償還に供りたる事とて兌換券は千三百餘萬圓減少し[illegible]四千二百餘萬圓となり又銀行餘力は千三百餘萬圓を增[illegible]含み氣配を呈し[illegible]錢乃至一錢一厘無條件一錢一厘五毛乃至一錢二厘普通一錢二三厘呼び又割引日步は普通最低一錢六[illegible]

[illegible]に[illegible]下等[illegible]七十八坪の工事請負入札[illegible]大郎府廳に於て執行せられたるが再入札の結果最低[illegible]成乃、平田久、[illegible]二番(二十四名)小野[illegible]佐野梅太郎、同[illegible]目加田[illegible]郞、芥川波三郎、同[illegible]きれゑ、吉野藤太、[illegible]原浦市、高崎ぞよの、[illegible]、松山唯介、同きみ、同浩子、

出兵解決期

西伯利亞出兵論は、近時稍下火となりたるやの觀あるも、實際の情況に見て、西伯利亞の形勢は、混亂一層甚だ敗きものあるが如し。今日迄の我國に對する、出兵積極論者中にも、各々其の主張とは解を異にせる者あり。其見解の相違たる、米國と英佛の、根本主義に於て、一致し難きものあるが如く、又英佛間にも、多少相異なるもの存するが如し。米國と英佛の相違は、露國經濟上に於る、見解の相違に因し、又英國が遠く、戰後の國際關係を考慮してよりの主張と、佛國の焦眉に處すべき徹底的出兵の主張とは、之れ亦各々其の論を相異にする所以也。英國新聞紙の報ずる處に依れば、英國は先づ、出兵理由を三段に分つて、第一は西伯利亞の秩序を恢復し、獨逸勢力の東漸を阻止せんとし、第二は西伯利亞の[illegible]の、獨逸に輸送せらるるを防[illegible]に敵國の勢力增加を、抑止せんとするにあり。第三は徹底的に、西部戰場に於る、獨軍の勢力を牽制せんとするにあるが如し。英國の此の主張に從へば、第一の目的はチタ方面迄出兵すれば足れり。從つて其兵力も亦多數を要せざる也。第二は烏拉爾を扼せざるべからず、故により以上の兵力を要す。第三は無論、大兵を動かさゞるべからざる也。佛國の主張は、即ち英國の第三主張を要望するものにして、英國が第二を目標となせるに對し意見相同じからざる也。而して若し日本出兵すれば、青島戰に英軍の參加せし如く、少數たりとも聯合國兵を加へ、聯合出兵の形式を執り、几つ日本は領土的野心なきを、宣言すべき希望を有し居るもの、如し。其他露國救濟出兵を主張するものに、西伯利亞中露勝綏者及び、反過激派あり。米國タフト氏一派が、頻に出兵論を鼓吹するも亦、北意は露國救濟に存す。然れども此の出兵論には、聊か恐れ入る要望を含めり。即ち同派は、米國軍人をして、指揮に任ぜしめよと云ふ。恐縮千萬の至りならずや。

出兵にせよ、非出兵にせよ、此の時に當り、考慮を要すべきは、露國の中心勢力の那邊にあるか也。西伯利亞新政府出現し、各所の反過激派勢ひを盛返し、復勝軍莫斯科を占領せし等の風說百出、逆迎に遑なく、事實は過激派の旗色惡しきが如く勞へらるるも過激派、或は仆れたりとて、其の後に代るべき中心勢力は何邊に在りや、此の疑問は、何人も未だ容易に解く能はざるべし。されば我國出兵積極論者は、各處より現はれ來らんも、未だ計るべからざる也。否必ずしも之れあらん。更に考慮すべきは、西伯利亞の混亂が單に過激派及び反過激派の爭ひに止らんか、格別の事なしとするも、過激派を指揮する者が、獨墺俘[illegible]にして、其軍中には、獨墺の俘虜多しと傳へらる。獨逸本國の意志が、果して茲迄延長し居れるや否やにあり。

要するに出兵問題は、聯合與國の要望と、米國の企圖とが、遂に相一致して、共同出兵を、我に求むるに至れる場合か、將亦獨禍東侵の事實明白となり、帝國自衞の必要、切迫せるの場合に於て、初めて解決せらるべき運命を有するものに非ずやと考へざるを得ざる也。首相が今春の議會に於て、敵國の勢力東漸し來りて、東亞の自衞に不安を感ずるに至りたる場合、並に聯合與國共同の利益の爲に、是非共必要とする場合には、斷乎たる措置を執るべしと聲明せしに見るも、出兵問題の運命は想像するに難からざるべし。今や人心尚ほ緊張を缺くものあり、與國の協調亦尚ほ一致に到達せざるものあり、時局に對する政府の態度と、其の措置に關しては もとより外部の窺知を許さゞる處、吾人の觀測當れるや否や。

時局と鑛業界の契約問題(五)

辯護士　吉武繁

然るに其採掘した鑛石に、其附金の賠償に關して、其賠償利金を得るとは不都合である。買主は賠償の義務があるが、併し法律問題となれば是れは別物の結果として論はれた。賣主たる原告が[illegible]賣主たる被告は僅かの手附金を以て、澤山の鑛石代金で不法不德の利得をなしたのである。是れ全く前述の契約が該鑛業權を賣主名義に讓渡へたる後に採掘をなさず、賣主名義の儘に鑛業權を存せざる買主に採掘せしめしに依り、鑛業法上認めざる行爲である。即ち前述の鑛業法第十七條に鑛業權は相續讓り渡し抵當滯納處分及び強制執行の目的外に權利の目的となす事を得ず鑛業權を有せざるものに採掘せしめたるは鑛業法の禁止するところにて、鑛業權者自身又は自己責任の代理人に於て鑛業管理鑛物を採收せしむる事を要するものにして、採掘は勿論採鑛と雖も他人の責任に於て其權利を授與し採掘せしめる事は不法である、斯の如き契約は無効である、無効の契約を原因として契約不履行に依る損害賠償請求は理由ないと遂に原告たる賣主が敗訴となり、買主は多大の利得を收めて終つたのである。本件の口頭辯論では原被告間鑛業法第十七條の解釋は上述の如くなるも、本件は鑛業法上許したる讓り渡し行爲の準備行爲である讓り渡しの附帶條件である、斯くの如き契約は無効にあらず、鑛業法の精神に反するものにあらず、敢て公序良德に反する契約にあらず、是れを無効と解釋せず、原告請求は當み得たるものなりと力說するものもあつたが、結局裁判所は一言を以て言へば、要に鑛業權者が他人に採掘せしめることが不法である、其契約は無効である、採掘する人の名義に非將へた後にあらざれば採掘が出來ぬのであると斷定したのである。然らば賣主は此買主に對し、不法行爲に因る損害賠償として請求する事が出來るかソレは出來ぬと思ふ、例へば故意に他人の鑛業權許可區內に竊盜的採掘、又は隣區の關係上他人の鑛區に侵掘した場合なれば不法行爲を原因として、損害賠償請求が出來るが此場合は鑛業權者自らが採掘を許して、後に至り故意過失に依る自己の權利侵害を以て、採掘者を問責することは出來ぬと考へらるゝのである。

阿部充家君を送る

南北學人

阿部充家君、京城日報社長の職を辭して東歸し、專ら國民新聞の社務に當らんとす。阿部君が新聞經營者として卓越なる才能を有し指揮數年、終に京城日報今日の隆運を贏ち得たる功勞の如きは敢て余の贅言を俟たずと雖も、突如君の名を朝鮮操觚界より逸するに至つては、惜別の情寔に餘りあり。殊に余輩が阿部君に對して此の情に堪へざるものは、其の人格高潔にして、磊質寛厚の德を有する同君の如き士を失ふの最も遺憾なる爲めに外ならず。而して是れ決して余一己の私言に非ず、阿部君を識る者の齊しく口にして止まざる所なり。然らば則ち阿部君の東歸は、朝鮮官民の損失甚だ大なりと謂ふべし。

阿部君の人に接するや温言愉色、他をして自然の快感を覺ら、春風徐に面を打つの趣あらしむ。而も邊幅を修めず、城府を設けず、正心誠意にして一點の邪氣なく、直ちに赤心を人の腹中に推す。其の坦懷雅量如何ぞや。余輩の如きは阿部君に面する每に、一切の私事を擧げて披瀝し得べしとなせり。殊に余輩の阿部君に就きて推稱措く能はざる一事あり、何ぞや。阿部君が居常朝鮮の開發及び朝鮮人の誘導を以て自己の本分となせるが如く、奔走至らざるなかりしこと是れなり。來鮮以後君が之が爲めに精力を傾倒せること、幾多內地人中にも殆ど類例を見ず。或は頑固執拗なる兩班儒生を薰染して、能く同化の實績を擧げたる如き、或は扶養を缺き窮境に陷める朝鮮人の子弟に資を給して修學の途を得しめたる如き、或は又留學生中一知半解の思想を懷くものありて、往々不穩の言動に及ばんとするに方り、中庸善導、彼等をして飜然改悟幸ひに過誤なからしめたる如き一々枚擧に遑あらざるなり。而も阿部君の之を行ふや、操觚者の本分となせるに似て、毫も其の功に伐らず、苟くも社會の木鐸として朝鮮の開發朝鮮人の誘導に志す者、皆當に斯くの如くなるべしとするの槪あり。是れに由つて之れを觀れば、阿部君の如きは一面新聞經營者たると共に、一面教育家たり將た宗教家たりと推稱するに於て、遺憾なきのみならず、實際世の自ら宗教家教育家を以て任ずる者に比して、毫末も遜色を見ず。蓋し阿部君の此の如きは、其本然の資性に由りしや、又は中心を禪學に潛め、臨濟特異の鉗鎚を受けて此の妙機を悟得したりしや、之を明かにせずと雖も、要するに朝鮮及び朝鮮人に對する同情親愛の一事は遂に阿部君をして開發誘導に奮勵努力せしめたる所以に非ざるなきか。余輩亦日常朝鮮及び朝鮮人の開發誘導を以て念となす者、且つ同情親愛の一事を以て、朝鮮及び朝鮮人に對する開發誘導の貫徹なりと確信するの一人たり。然れども時局の發展は殆ど其窮極を知らず、世界に於ける大日本の地位益々重大にして、國民の一致協力を要すること今日より切なるはなく、朝鮮と內地との關係亦一に方り、帝國主要の方面に於て、朝鮮を知り、朝鮮人を解せる阿部君の如き士を有するは最も意を强うすべき所、聊か以て慰むるに足る。况んや又後繼者加藤君が阿部君と志を同じうするものたるを信ずるに於てをや。嗚呼金剛の山一萬二千峰、鴨綠の水一百八十里、共に天下の大觀たり。而して此の絶好の江山は再び阿部君を迎ふること無きを保せず。君請ふ邦家の爲めに加餐せよ。一謔以て送別の辭となす。

八角亭閑話

近頃東京から歸つて來た人の話に據ると東京の景氣は相變らずすばらしいもので宿屋は何處でも滿員である、東京ステーション、ホテルの如きは二週間も前から申込んでおかないと室が得られぬさうだ▲元來ステーション、ホテルの性質として何時でも旅客が泊るとか出來るものでなくてはならぬ。然るに前述のやうな有樣では、其存在の意義に背くわけになるが、さればと言つて苦情を申込むわけにもいかぬ▲さらば東京ステーション、ホテルはいつも滿員かと言ふに決してさうでない、室はいくつも空いて居る、然しそれ等の室は皆豫約濟みのもので臨時の客に貸すわけにはいかぬ▲此等の室の多くは大阪や神戸の商人が豫約しておいて、一月の中に幾度か商用の爲めに上京する時に事務所兼帶に用ゆるのださうだ、室代は廉くはないけれど、別に事務所を設けておくに比べるとよほど經濟に上るさうである、なる程よく考へたものだ▲東京の生活の緊張して居ることは宴會に多くの時間を費やさぬとを見ても分る、京城の宴會では三時間も四時間もかゝるのはないけれど、東京では二時間以上續く宴會はめつたになく、主人の挨拶が濟まぬに客はもう歸り支度をして居るといふ有樣ださうだ▲こんな風で約束の時間が嚴重に守らるゝ風が近頃著しくなつた。京城でも追々經濟上の必要で宴會の時間が短くなり約束の時間が嚴重に守らるゝやうになるであらう、又ならねばならぬのである。

並行線

瀧閑村

(三十一)

おのぶと宣太郎の緣談の始まつたのを聞いた時、お村は自分が郡子から來た手紙を隠した事を、惡い事と思はないやうになつた、寧ろ斯うする事が其緣談の成立に力を添へるものであるとすら思つた、そして其後も二通燒いてしまつた。

二日經つた午後、光一は宣太郎を訪ねて來た。

『お君は?』と座に着くなり光一は訊ねた。

『今一寸買物に行つたやうです。』

光一は不在の方が宜かつたと云ふやうに、室內を見廻し乍ら、

『此間話した一件はどうだらう』

『さうですね、考へても見たが、やつぱり斷つて頂きたいと思ひます』

『フム』

二人の間には五六分沈默が續いた。光一は吐息した後、聲を落して

『實はこんな事はお前の耳へは入れたくないのだが、お前が承知して呉れないと、私は困る事が出來るのだ、事によると私は罪人にならなければならないのだ。』

『罪人?』宣太郎は愕然として

『何故です』と思はず急き込む。

光一は苦さうに俯向いて幾度か唾を飲んだ。

『實は私はあの銀行の金を大分費ひ込んでゐたのだ、それも何も道樂をしたのでも無ければ、相場に手を出したのでも無いが、自宅の家計が切ない處へ、手許にあつたものだから、直ぐに返すつもりでつい手を着けた、手を着けて見ると中々返す時が來ない、其中に病人だの何だのと不時の入用が起る、又融通をして置くといふ工合になり、最後に父の不幸で又穴を大きくしてしまつたのだ……』

『成程、それで其額はどの位です』

『額は八九百圓だが、私には大金で、今の處どうして返さうと云ふ目的もないのだ、それに困つた事には、それを江藤が嗅付いたらしいのだ……』

『……』

『で娘を貰つてさへくれれば親類だから、江藤にも私にも出來るだけの便宜は圖らう、と云ふ口の裏には若し承知してくれなければ邪魔へがあると云ふ口吻が見ゐるのだ。』

『…………』

『私だつて、世話をするならあんな娘で無くとも、もつと適當な者を世話をしたいと思つてはゐるけれど、是に困つてしまつたのだ、そんな事でお前の一生をつまらなくしてしまふも濟まない事だし、それに私は自分がした事で恥を受けるのだから仕方が無いとも思ふけれど、家族の事を考へるとさう行かないので苦しんでゐるのだ。こんな事は[illegible]お前に聞かせたくは無いのだが、江藤からはどうだ、どうだと云つて來るし、どうにも仕方が無くなつてしまつたのだ。』苦しさうに、腋の下の汗を拭つた。

『成程さう云ふ理由があるのですか。』

兄を慰む心の隙に、江藤等の汚い心を憎む情が燃立つて來た。一時は[illegible]斥けたいと思つた、併し若し子が自分を離れたとすれば、是に對する事を考へねばならないとも思つた。

『よく判りました、私ももう一度考へて見ませう。』と云つて兄の顔を仰いだ。年齡よりも老けて、カサカサしてゐる兄の姿を見ると、宣太郎は胸が塞がるやうに思はれた。

本紙定價　一ヶ月金[illegible]錢　前金[illegible]
廣告料金　七字詰一行八十錢　[illegible]
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　[illegible]
振替京城三〇〇番

キリンビール
明治屋の
商品券
弊店發行の商品券は左記の本支店共通に相成居候に付何れの店にても營業品は何品に不拘御不便無く御引換可申上候殊に內地へ御呈送には最も御便利に御座候
東京、横濱、名古屋、京都、大阪、神戸、金澤、門司、福岡。
宮內省御用達
京城本町壹丁目
明治屋京城支店
電話二一二番　一七二二番
洋酒洋食料品洋菓子
洋食器化粧品舶來煙草
布引清涼飲料水

▲六拾九回　九月抽籤
即賣　月賦
小尾両替店

富の道しるべ

鑛物分析
京城太平通二ノ二三六
電話長二八二三番
松永分析所

氣持のよいペンの走り
メリット萬年筆
思はず知らず事務の捗取る
アームス萬年筆
東京神田　サムライ商會
滿韓地方に限り此際特に割引す
全國到る處の文房具店にあり

和譯　聖婆伽梵歌
梵文
發兌　東京小石川區原町六　振替東京一五六八六
丙午出版社

歌の講習會
歌を知らぬ人は一生の損害也
文學博士高楠順次郎先生和譯
大日本歌道奬勵會
賣捌　京城本町二丁目　大阪屋號

◎見!!!安全確實放資
福崎株式店

卸賣大勉強
扇子
◎各種荷揃ひ致居候◎
◎印入御注文に應じ候◎
京城本町二丁目
日之出商行
振替口座四〇二番

麻苧、麻繩、ロープ、綿糸、玉糸、荷造糸、荷造細引、拖裝材料刷毛類
地方御注文は迅速に御便宜相計り可申候
京城太平通二丁目
卸小賣　田端善吉商店
電話一八〇二番

定價表進呈
中村眼鏡店
京城本町
電話壹貳七番・振替京城三四六番

京日案內

店員入用　齊藤商店
恩給年金立替　國江商會
礦物定量分析　坂元分析所
名灸
測量製圖
恩給年金　吉田屋
ほねつぎ　柔術道場
氷卸販賣人募集
◎內地行人夫募集　一傭入先　小川隼人
內地人女子募集　總督府印刷所
求

◎敵近く攻勢を執らむ

五日發佛國公報に曰く敵は兵力を各方面に移動し終れるものゝ如し攻勢を執り來ると近きにあるべし（倫敦電報）

◎兩軍激戰起らん

ハバロフスクに於て過激派軍とチェック軍との間に激戰起らむとしつゝあり（哈爾賓電報）

◎國會召集と開期

新國會召集せらるゝ開會期は八月中旬なり（北京電報）

◎岑春煊宣言發表

政務總裁に選擧せられし岑春煊氏は四日宣言書を發表せり（北京電報）

◎三府議員選擧

上院三府議員選擧は十日施行せらるべし（東京電報）

◎章鮮合困難

大阪商船解合は困難にて客先解合に不服を唱ふる者多し八日中の解合困難ならん（大阪特電）

◎有松長官車中談

長江筋の邦人勢力……新大總統は徐世昌か……西伯利亜の風雲如何……朝鮮所見

九日夜入京せし有松長官を京義線の車中に迎ふ、質素な詰襟服をつけた長官は元氣よく語る、六月の二日

▲青島に上陸 以來南支那北支那滿洲とまはつて朝鮮に入つたのだが何様忙しい旅で大抵ドコも一泊若くは二泊若し汽車があれば夜行で立つといふ具合ひだから土地の調査の如きは全く出來ない唯色々な事を官民有志から聞き過立てらるゝやうな意見を纏けたに過ぎぬ、從つてお話しする材料もない、然し百聞一見に如かずでよい學問はして來た、南支那の方では旅行が今日たやうに忙しいから所謂支那の名士を訪ねもせず領事などは會つたらどうかとすゝめてゐたが反つて失禮と思つて素通りした、長江筋に於ける邦人の發展は僅に注目に値するものがある、戰時中だから英人初め

▲歐米各國人

悉く手を引へ氣味なのでそこに日本の勢力は餘程侵入してゐるやうだ、又あの一帶には日本の資金にその開拓を待つ事業少からず借款談等は餘程あるらしく聞いた、北京では林公使と共に馮大總統にも會ふし總理の段祺瑞も訪ねたが恰度龍濟光が入京してゐて例の政府が日本の銀行團から引渡しを受けた吉會線借款一千萬圓の前渡しの中から三百萬圓を割取するといふ樣な風説があつたり、大總統の選擧中だつたりして騷がしいから格別長話もせぬ、馮總統は南北相和せざる國情の困難をコボしてゐるやうだつた大總統の選擧はその後形勢を聞かぬが予の滯燕中の風説では多分

▲徐世昌

が當選するだらうと云ふ噂だつた、勿論南方派は投票をせぬらしい、又投票の買收は殆んど公然行はれてゐる、滿洲各地の發展は思つたより盛んである、哈爾賓には一泊しかせぬので所謂西伯利亜の物情騷然たりとの詳報は知り得なかつた、然し予の聞いた所ではセミョノフ軍が一時滿洲里で取れたが更に蹶起して過激派軍を壓迫しつゝありとのことだつた、今後形勢がどんなに轉化して行くか又日本の出兵を必要とするか否かは俄に斷じ難いが、少くも哈爾賓の日本人は吾々の考へる以上に獨墺勢力の混じつた過激派軍の東漸を

▲重大視

してゐる、然しそれは止むを得ないことだらう、現に予に向つて過激派軍中に墺獨俘虜の混入してゐることに付き詳しく說明を試み且つ實地を示して力說せる人もあつた、その人の說によると過激派軍の戰死者中に立派に墺軍の軍服を着けた軍帽を被つてゐるものを少からず發見すると云ふのである、要するに獨墺禍がセミョノフ軍の隆替如何により漸次東に迫るべしと云ふ事は事實に近いらしい、哈爾賓の居留民が此儘見て居れぬと力味のも一理由あるやうである、朝鮮には予もまだ入つたばかりであるが水田の開拓

▲道路の完成

植林の進捗等産業的施設の特に目立て見わるのは予の頗る愉快に感ずる所である

◉全鮮經濟概況

五月中に於ける朝鮮の移出貿易は前月に比し約六十萬圓の增進を示せるが之れ主として銅鑛石等の出增に因るものにして大宗たる米穀は月初外米指定價格の發表獨逸講和損議の報に基く期米暴落の影響を受け商狀頓に

▲閑散に陷り

唯だ前月旬に比し移出探算稍良好なりしも下旬に入り內地相場の回復せしこに由り若干出增を示せるに過ぎず次に大豆は內地相場不振にて殆んど商談なく其の他雜穀類綿絲布皮等何れも出荷減退せり而して一方に移入方面を觀るに綿絲布類は前月入荷薄の後を享けたると夏物仕入の關係もありて入荷頗る多く季節柄支那麻布の輸入も尠からず加ふるに事業用品の移入引續き旺盛なり、等相俟つて前月に比し三百五十萬圓の激增を示せるも鮮內取引は擧げて其の他季節物に稍見るべきものあり外

▲綿絲布類は

農繁こ三品市場の商勢浮動の折柄一般に手控の姿に在り荷動き不振を免れずるも之亦下旬京城に於る綿絲商の取引は例年の閑散期に際し獨り仲間取引は引續き斯界を賑はし商況頓に旺盛を呈せるのみ鑛商店の破綻に因り一頓挫を來したる總體の値に若干の低落を示すならず從來殆んど昂騰一方なりし物價は本月に入り漸やく頭打の姿となり總で均衡を保ちつつ金融市場の狀況に至れり、依つて金融市場の狀況を觀察するに輸移入

▲貿易の好況

に伴ひ對內地受入爲替の如きは尠からざる增加を示し季節物取引上事方面に於ける資金の移動稍や頻繁なりしこ雖も前述の如く一般の商狀不振なりしこゝて新資金の需要に乏しく放出金は回收勝の有樣なりしを以て本月末に於ける各銀行の民間貸出は前月に比し三百七十萬圓の激減を示し民間預金も特殊大口資金の移動に依り七十七萬圓を減少せり而して朝鮮銀行發行高は叙上貸出の減退に主因して前月末に比し

▲七十二萬圓

の收縮を示して月末現在六千百二十五萬圓となり金融界は月末恒例の小緊を除き大勢依然閑散の裡に越月せり

◉公設 市場問題（二）

生產者組合この協同

公設市場問題に關聯して觀察の要ある生產者組合は相當に活動の委託販賣を引受くる外に尙は他府縣の生產品に對しても同樣に委託を引受け販賣品に對しては不當なる價格を附せず』こせり即ち其結果こして四月十五日開市の際に販賣品の不足を來すことなからしめ能く新鮮にして廉價なるものを供給し私設市場をして殆んど恐慌を惹起せしむる程に効果を擧げ當業者をして滿足せしむること大なりき市場が機敏に生產者こ連絡を保ち私設市場商人をして一齊に相場を引下しめたる成功を貴せざるべからず四月十五日以來大阪市が開設したる四箇所の公設市場の

▲賣上高は

未だ日淺きが故に巨額に達したりこは言ひ難きも從來の市價をして低下を餘儀なからしめ以て間接に市民を益したる額は其の幾何なるを知らず更に其の效果が公設市場の忽にすべからざる所以を實證し範を社會に示したる功績は沒すべからず斯くの如く公設市場が斷乎こして奸商の妨害を排斥して其の所信を貫き得たるは實に農家其の他生產者この提携宜しきを得たるが爲にして京城公設市場建設に付いても深く留意すべき點なり朝鮮に於ては內地に於けるが如く各郡部に農會の設立なきも京城附近には東拓農場の總督府の

▲試驗農場

あり其の他農園の經營者尠からず水原には朝鮮農會あり市場は此等有力者と先づ協力して後援を求め更に一般の蔬菜果實等の生產者には組合を作らしめ以て市場と連絡を保たざるべからず

▲組合を作

らしめて公設市場に直屬せしむるは容易の業にあらずこ雖も又た大なる困難の件なるべしこも思はれず現に支那人の如きは却つて市場商店たるを喜ぶの傾向ありこは在留支那人有力者の言明する所なり

▲建議案提出

せらる、公設市場の必要とするは前述の如く助を必要とするこは前述の如くなるが更に公設市場は生產者組合この協同を必要こす本年春大阪市に公設市場設置に關する

▲蔬菜類の

供給を不足せしめず農會は府下に生產する蔬菜の責任を以て毎月金五百圓宛を交付し農會は『大阪市は農會に諸種の費用こして毎月金五百圓宛を交付し農會は締結せる契約の要領を見るに』めたり而して今大阪市こ大阪府農會こ締結せる契約の要領を見るに携する必要を認め其の援助を求むることゝしたり即ち府郡農會こ提携して其の生產を增加し供給を豐富ならしむる上に於て府郡農會こ提こして先づ接近せる郡村農家を奬勵し其の窮乏を緩和するの救濟手段二は他府縣の移入に仰ぎ相場の昂騰を免れざるを知り其の救濟手段こして消費する蔬菜類の三分の着手せしめたり當時市當局者は大阪市は忽ちに當局者を刺激して實行に着手せしめたり當時市當局者は大は喧しき際なりしかば其の反響喧しき際なりしかば其の反響

▲道府尹郡守會議

京畿道府尹郡守各府郡庶務主任會議第二日は九日午前八時より道廳會議室に於て開催指示事項及び地稅の改良指導は勿論企業及び商取引によする事項等各般の說明あり

◉豆滿江鐵橋架設と總督府

工費の半額は朝鮮にて負擔

吉會鐵道借款の豫備契約は客月北京に於て支那政府と我興業朝鮮臺灣三行の間に成立し前渡金一千萬圓の授受も終了したるがその後兩者の間に本借款の締結交渉を進めつつあり唯未だ調印成立期は明かならざるも蓋し遠き將來にあらざらん尙ほ吉會線鐵道借款の豫備契約によれば豆滿江の鐵橋は支那側こ朝鮮總督府鐵道局こ共同にて建設し共に建設費の半額を負擔する事こなり居れり豫備契約の內容左の如し

▲吉會豫備契約

第一條 鐵道建設費及び一切の費用は双方協議の上同額の中華民國政府五步利附金貨公債を發行し之に充つ

第二條 本公債の期限を四十箇年となし發行の日より起算して第十一年より元利支拂を開始す

第三條 支那は吉會鐵道正式借款契約の成立を俟つて鐵道建設に着手し速成を期す

第四條 圖們江鐵橋は支那こ朝鮮總督府鐵道局こ共同にて建設し共に建設費の半額を負擔す、本鐵道と朝鮮鐵道との運輸聯絡協定は努めて兩鐵道運輸の發達及聯絡の圓滿を以て本旨となす

第五條 支那は日本に對し左記の物件を以て借款の擔保となす

現在及び將來本鐵道所屬の一切財產及び其收入但し支那は日本の承諾なくして前項の財產或は收入を以て他借款の擔保となすを得ず

第六條 本公債の發行額は中華民國四年十二月十七日支那と橫濱正金銀行間に訂定の四鄭鐵路借款協定に對照して之を定む但し本公債の發行價格は發行時の情形により之を協定す

第七條 以上各條に規定せざる條項は光緒三十三年十二月十日訂定の津浦鐵路借款に準據し雙方協議決定す

第八條 吉會鐵路正式借款契約を以て之れが基礎となし六箇月以內に之を訂定す

第九條 日本は豫備契約成立と共に支那に日金一千萬圓の前渡金を交附す前渡金の利息は年利七步五厘即ち日金一百圓に對し毎年七圓五十錢の割合こす

第十條 本借款は支那發行の國庫證券を以て之を交附す

第十一條 前條國庫證券は六箇月毎に利子を支拂ふ

第十二條 吉會鐵道正式借款契約成立の後本公債募集に依り得る處の資金中より前渡金を還付すべきものとす

第十三條 前渡金の交付、償還、利息及び其他一切の段取は東京に於て之を行ふ

第十四條 本豫備契約借款協定は日支兩文各二通を作製し疑義を生じたる時は日本文に據る

◉京電株主總會

京城電氣會社の今明株主總會は來る二十七日午前十時より東京麴町區有樂町生命保險協會內に於て開會に決し近く召集通知を發すべし

◉鑛業登錄（自七月一日至七月二日）

▲鑛業權設定

金銀鑛 京畿道楊州郡榛接面 平安南道成川郡成川面 二千七萬六千九百七十坪 七十六萬三百六、八坪 高城良一 朴 錦 舜

金銀鑛 平安南道成川郡 七十六萬三百六

▲鑛業權移轉

金鑛 平安南道成川郡 大田 稔

▲鑛業權表示變更

安南道成川郡 二四 石井 貞松 谷口 嘉十郎

◉鐵道移動狀況

本年六月中に於ける總鐵道貨物の移動狀況を示せば左の如し（單位噸）

品名	本年六月	前年同期比較增△減
新米	二三九、〇[illegible]	△一八、八九八
食鹽	二、八一六	△七四二
石炭	二一、二二〇	△二、二六
鑛石	二五、八二〇	七二五

二千二百四十二圓（二割三分六厘）を增加し月末在貨は前月末に比し一千五萬噸減少せり米以下十五品減少せるものは米以下石炭外二品なり又九州線に於ては肥料（七分）米（二割二分）木材（一割七分）石炭（七分）坑木（四割）增加せり（東京）

◉安東通信

▲安藤左行上兵庫縣明石中町に開催せし同工場の全部完成を見るは多分年末となるべければ本式に列席の爲め日程を變更して八九日五龍背に赴き一日間都察の上招待會に臨みたるが安東一泊の後北行の途に就く

內地人郡守（八）

（會寧）江田重雄氏

江田氏は慶應三年大阪府北河內郡山田に生る明治十八年大阪師範學校を卒業し同府內郡書記及び小學校長に任ぜられ明治廿九年私立關西大學法律科を

◆卒業 同三十三年兵庫縣美方郡視學に任ぜられ後鹿兒島縣視學となり同縣より明治四十二年在官の儘舊韓國政府に招聘され度支部工業部製造所經理課長に任ぜられ

◆次て 江原道內務部學務主任こして今平安北道內務部學務主任こして今日に及んだのであるが氏は性溫厚何等娛樂的趣味を有しない朴訥の人であるが青年時代より

◆園藝 こ心理學には興味を有ち深く研究する處あつた氏は目下滿洲方面視察旅行中である

◉銀行券發行週報

六月三十日より七月六日に至る一週間の鮮銀券發行高平均高は六千二百二十九萬四千圓にして週末發行高は六千二百七十萬二千圓なり

▲共同鑛業權者脫退

鐵鑛面積二千二十四萬三千三百五十坪 黃海道海州郡月磊面 廣澤正次郎脫退ス 成鏡北道鏡城郡朱乙溫面 山根福三郎死亡脫退ス

大阪より

▲新設拔 商品陳列館

大阪商務官は洋方面に對し本年度に於て新嘉坡に商品陳列館を同地に設立する事となりしが設立經營を商業會議所に委囑したるが該館の設置は盛に本邦商品を展示し眞摯なる紹介機關の役をも務めし各商業者に通信商品の改良指導は勿論企業及び商取引上に企業の資買仲介、工業原料品に關する事項等各般の紹介其他貿易上の南洋貿易增進上に有力なる機關たらしむる目的なり此趣旨を一般に周知せしむるこ共に同時に出品の勸誘を爲さしむる爲め農商務省は同館長木村增太郎氏こ共に南洋課長に派遣を命ぜられし同局商工課長吉岡を南洋課長に派遣を命ぜられし同局も同行し左の日取にて巡回する筈（七月七八九日東京、十日橫濱、十一日名古屋、十二日京都、十三日、十四日神戶、十五日大阪、十六日大阪、十七日大阪、十八日神戶）

▲手形交換高

大阪に於ける六月中の交換高は枚數百五十四萬五百四十六枚にして前月より六萬九千五百八十七枚增加し金額は四十二億六千五百一萬七千四百九十八圓にして前月より二億七千六百十五萬六千九百三十七圓を增加し殘高は七億四千八百三十七萬九千圓にて前月より一億二千六百三十二萬圓を增加せり而して一月以降の累計は枚數八百六十七萬二千枚金高二百十二億五百四萬七千圓に達し前半期より枚數百八十六萬四千枚を增加し金高は八十四億六千四百九十九萬六千圓約七割を激增せり上半期二百十二億の空前記錄を現はし昨年一箇年の交換高二百一億圓を凌ぐこと十億圓なり此勢ひにては下半期末は四百億圓臺を拔き更に新記錄を現はすに至るべし（大阪支局）

◉有松長官

有松長官は京城着九日午後七時二十五分南大門驛着の入京朝鮮ホテルに入れり狄田總務局長不在中の故に代理の兒島書記官外屬一名で人心を代へ兒島警務局長、秋山課長、東拓殖產課長安藤京畿道長官、兒島殖產課長、東拓殖產課長等を始め新聞記者其他の出迎へ多かりき分持地兩長官三島大田鮮銀總裁、大塚二部長官外屬員一名で入京した狄田拓殖局長、荒井財務局長、井上總務局長を始め鐵道理事外官民の出迎へ多かりき

◉阿部氏出發延期

既報の如く阿部前京社長は十日午前八時四十分南大門驛發京釜線で歸東の豫定なりしも京釜線增水の爲め成歡平澤全義間汽車不通に付き已むなく出發を延期したるが開通次第出發すべし

▲金原信康氏（大倉組鑛山技師）九日安東へ

▲林價治氏（天津東亞煙草支店長）同上京城ホテルへ

◉學期試驗と勉強の仕方

（ロイロ）

茲に受驗必勝の法を授け神經衰弱の療法を教ゆ

子を思ふ親達は必ず讀め

記憶力增進と云ふことは萬人の知らんと欲する所で、如何にせば記憶力を增進することが出來るかと云ふ事は廿世紀の大問題であつたが近來新記憶術と復習の仕方に至り記憶力の增進の秘法は腦神經衰弱の治療と腦の强精の法を講ずるの一番正道である勉强の上手下手は練習の仕方如何に依つて分れる。復習は絕對に一度行るよりも、同所を五六回行つた方が遙に有効である。如何に頭腦の能い人でも一度で成功するは至難、少くも五六回は通した方が安全だ。けれども五六回も反覆するに於ては頭腦に相當の疲勞をきたすから之に對しては腦の缺陷を補はねばならぬ。それには一日一回腦神經強壯劑たる健腦劑レーベンを服用する必要がある。

▲勉强を長時間するにも徹夜をすれば腦が非常に疲れ頭痛眩暈を起し翌朝は何事をやるにも嫌になるから之を防ぐ爲めにも腦劑レーベンを服用する必要がある。故に腦に限らず何時に於ても首腦の疲勞を防ぐに頭腦の強劑レーベンを服用せねばならぬ。之れ即ち其人の勉强が成功せぬ理由である

▲頭痛がしたり逆上する人、頭痛がする爲め神經衰弱、腦病、不眠症、記憶力減退を來すのであるから斯る時には即時レーベンを服用するの必要がある。又腦神經衰弱、健忘症等にも腦が弱つて居る時は之に救ふ可らざる結果に陷るから一刻も早く治療すべき必要がある。

容易の書方 答案は簡單明瞭に要點を摘んで書けば宜しい。答案を前斷にする必要がある。答案を明斷にして其人の腦の優劣を判斷する者は頭腦に悖きし神竟の業を爲すに疲勞して腦を害し腦健腦劑レーベンを服用する事が世の父兄たる者は一刻も早く此點に留意し一度レーベンの服用を試みられよ。定價は三十錢五十錢一圓一圓六十錢三圓五十錢である。尙ほハガキにて東京銀座尾張町二十一番地に申込む時は當時學士の著書にかゝる『胃腸病及び腦神經衰弱療法』の二冊を進呈す

しんぞう病

に困難せる人に最も効能の確かなヨクキク學理を應用して最近出來た新しい良藥を提供します試切手封入照會あれば明石中町兵庫縣明石 松尾藥進堂

胃腸強健法十二則

其一 食事は三椀を三十分位に食べる程に能く咀嚼すれば消化が圓滿にゆく。

其二 朝食七時、晝食十二時半、夕食六時半位に定め置くが宜しい一回の食事を消化するに約五時間を要するからである

其三 可成家計の節約も必要であるが、自分の趣味や嗜好に應じて食品を選ぶことも必要である

其四 食事は愉快に談笑の間に攝る可きものである。他事を考へたり、讀書しつゝなすは宜しくない。

其五 可成胃腸に良い習慣を造る樣にす可きである。朝餐は成るべく淡白な食品を攝り、魚肉や獸肉等は晩餐の際に用ふるが宜しい。

其六 職業により食慾は一概に云へないが、食慾の進む時は充分攝るが宜しい。併し虛弱の人は腹八分にも五分にも控へ目に攝食しなければならぬ。

其七 食後の睡眠は人々の習慣こ年齡こに依つて違ふが、普通食後三時間位は適度である。

其八 入浴も食後三時間位を過した方が宜しい。少なくとも食後一時間又は一時間半位休憩した方がよい。

其九 食物の溫度も消化の進捗に影響があるから過熱酷冷の飮食物をさけ、体の溫度を標準として攝取するが適當である。

其十 煙草こ胃消化こは太なる關係があつて、少量ならば消化を進捗させるが、空腹時に於ける喫煙は良くないから、食事後直ぐに用ふべきである。飮酒も同樣な關係がある。

其十一 睡眠不足は翌日に至つて胃腸の消化を障碍を起し易いを十分に眠睡して胃腸の休憩を十分ならしむる必要がある殊に營養不良の人に於て一層睡眠を要する。

其十二 毎日正規の排便を爲すに力めねばならぬ。若し便秘の傾きがあれば緩和の下劑を用る又は灌腸する必要がある

斯の如きは是皆胃腸の障害！

㊀ 噯氣または嘔吐を催す。

㊁ 胸灼けを感じ、胸部が刺さるゝ如く痛む。

㊂ 食慾減じ、食物の美味の感じを失ふ。

㊃ 胸むかつき、頭痛眩暈を覺ゆる。

㊄ 顏面浮腫て意識不明瞭になる。

㊅ 胸焼えて酸味ある嘔吐を覺ゆ。

㊆ 舌が白く變色し、又は唾液の分泌が多量くなる。

㊀ 腹部に膨滿を覺え、便秘を起す。

㊁ 官覺鈍りて頭腦朦々こする。

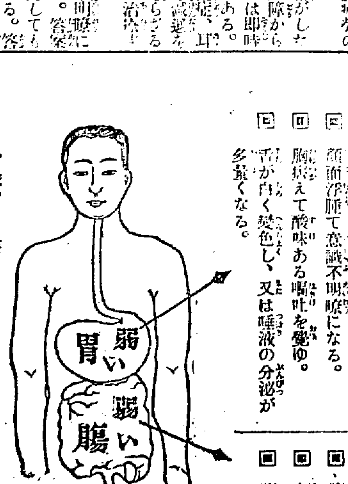
㊂ 下腹部に疼痛を感じ、腹鳴を起す。

㊃ 舌の下面部黃色くなり、頻りに渴を覺ゆる。

㊄ 腹部に壓迫を覺え呼吸困難こなる。

㊅ 顏色蒼白くなる。

㊆ 腹部に瓦斯が溜滯りて屢々放屁を爲す。



以上の如き胃腸病の徵候に對して

ホシ胃腸藥は

最も的確なる効能を顯し之を原因的に治癒せしむ。

定價 金二十錢 金五十錢 金一圓

ホシ胃腸藥

東京京橋南傳馬町

星製藥株式會社

十二圓にして前年同期に比し噸數……に於て六十五萬八千三百廿四噸（一割六分三厘）收入に於て十六萬……入十七萬七千百四圓にして總噸數……に對し千分の五の割合なり次に主要貨物十九品種の移……

鍛鐵	二五、七七〇	△二六、六九三
鉄鑛	四七、二一三	△七、四八七
鐵石	七九、七八八	△九、二一二
肥料	一六〇、七六〇	△二〇、七五七
生果	二六、二二七	△七、七三三
鮮魚	一三二、三九五	△一二六、九三一
	一五、二一五	△一八七
	六、三五八	△二六七

にして前年同期に比し增加せるもの（十一割八分）木炭（九割八分）煉瓦（七分）コークス（三割一分）の三品より……産十七割（六割二分）棉（二割六分）石炭（三割）……分木材三割九分石炭一割四分……（二割五分）食鹽（二割六分）セメント（二……

なり北海道に於ては……領事其の他滿洲、吉州、安東の官……民有志五十餘名を招待し晩餐會を……り以て……見るやも計り難しと◆臨時外事課長……地方狀況視察の爲め出張中なる……府外事課長鵜山長治……記念撮影をなし其れより工場を視察したる上午後六時より同行の……

◇南大門驛の有松法制局長官（右秋田總務局長）

泣面に蜂の電報

▽この頃延著する理由

京城郵便局　服部局長談

近來内地方面よりの電報著しく延著すること及び其理由に就ては屢々新聞紙上に報ずる所ありしが服部京城郵便局長はこれに就いて更に語つて曰く

朝鮮及び滿洲と内地との間を聯絡する海底電信線は都合六本あるが其の中

（一）内地滿洲間は佐世保より大連へ敷設した一線のみで其他は
（二）東京より京城へ（下關釜山間）一線
（三）大阪より京城へ（下關釜山間）一線
（四）下關より京城へ（同）一線
（五）下關より釜山へ一線
（六）元山より松江へ一線

である此六本の電線が平素一晝夜の間に取扱つてゐる

◇電報數を　概算すると（一）佐世保大連間約三千三百通（二）東京京城間約二千通（三）大阪京城間約二千百通（四）下關京城間約二千百通（五）下關釜山間約千五百通（六）元山松江間千通即ち平素は此六本の海底線を以て一晝夜間に約一萬二千通の電報を捌いて居る譯であるが京城郵便局一日の電報取扱總數は約一萬八千通もある此中

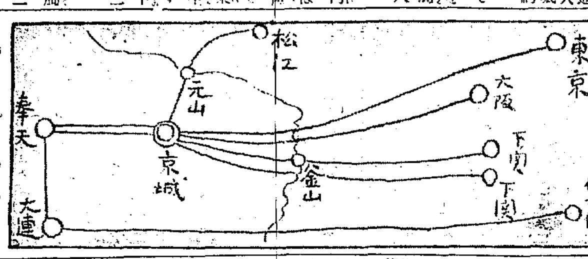
◇約六千通　ばかりは内地方面と交換して居るものでこれは（二）京城東京線（三）京城大阪線（四）京城下關線の三線に由つて疏通して居た所が六月二十日以來（四）京城下關の海底線に故障を生じ修理が出來ぬ爲め未だに使用することが出來ず今では（五）釜山下關線を利用結局（二）（三）（五）の三線を以て此六千通の外に更に

◇釜山局の　取扱に屬する二千二百通を加へ都合八千二百通と云ふ多數の電報を捌いて居る平素四本の電線を能率一杯に使用しても尚輻輳を感ずる所へ俄に一線を減じたのみならず（五）は古線の爲め非常に能率が低いと來て居るから電報は

◇益々輻輳　し延著するばかり所が六月二十九日から又復佐世保大連間の海底線が不通になつた泣面に蜂とは全く此事で此線は平素一日に滿洲と内地の間を往復する電報三千三百通を取扱つて居るのだがこれが不通になつた結果此三千三百通は悉く京城を經由する事となり結局

◇京城局は　一晝夜に約一萬二千通といふ内地往復の電報を（二）（三）（五）（六）の四線で捌いて居る譯であるが此四線の傳送能率は一晝夜に約七千通京城局で取扱ふ電報數に對しザッと二分の一に過ぎない止むを得ず殘餘の二分の一は翌日に廻さねばならずそれだけ其の電報は遲れることになる近來餘り電報が延著する所から

◇至急電報　が著るしく増加したが至急電報でも目下の態では五六時間は懸る



朝滿内地間の海底線略圖

朝鮮から出た新博士

總督府醫院の小林晴治郎氏

專門は動物生理學—研究に熱心な學者肌の人—何時も顯微鏡と首つ引—卅五歳で博士に

總督府醫院　森安博士談

京城總督府醫院醫官小林晴治郎氏が八日理學博士の學位を授けられしことは九日朝刊所報の通りなるが總督府醫院の森安博士はこれについて語つて曰く

小林君が理學博士になつたことは今朝の京城日報を見て知つたが同じ醫院内から博士を出したと云ふことは頗る同慶に堪へない殊に小林君と私とは同郷の誼みもあり宛ら自分のことの様に歡んでゐる次第である小林君の専門は動物生理學で病院では傳染病理方病研究科に勤めてゐる新聞には醫學専門學校の講師とあるがこの方は

▽ホンの兼職に　過ぎない醫術本來の目的は言ふ迄もなく病氣を癒すにあるが夫には動物學上の知識が非常に必要である例へば肺ヂストマを癒すにしても肺ヂストマ蟲の生理的機能發育状態等を知らねばならぬやうに動物學上の知識を要することが却々尠くないヂストマ蟲や蛔蟲などは動物學上微小體に屬するのであるが小林君の専門は詰りこの

▽微生體の研究　にあるのだ所が何しろ研究の主體が顯微鏡の力を藉らねばならぬやうな微小なものばかりであるから一通りや二通りの根氣では出來るものではない然るに小林君の熱心なこと、云つたら實に驚く程で朝から晩まで研究室に閉ぢ籠もつた儘顯微鏡と首つ引と云ふ有樣先天的に學者肌に出來てゐると云ふものかその

▽研究熱の旺盛　精力の絶倫とには院内でも舌を卷かぬものはない位ゐである小林君は帝大理科大學選科の出身で學界に見る篤學の士で今日迄に屢々重要なる論說を發表し學界に貢獻した所も尠くない今度の學位は論文提出に依るものであるがこれと云ふのも普段斯くの如く熱心なる研究の賜であると思ふ人物は温厚にして篤實

▽不惑にはまだ　四五年も間があると云ふから非常に若い頃から理學博士を出したのは多分同君を以て嚆矢とすると思ふが全國を通じて云つても亦三十五や六で博士になつた人は餘り澤山はあるまい同君の傑出した人なることはこの點から見ても知れるであらう

肝臓ヂストマの發育環

を明かにし其豫防法を講じた

◇提出した學位論文の主旨

新理學博士　小林晴治郎氏談

小林新博士を總督府醫院研究科に訪うて祝意を表すと漸くに眼鏡をかけ背の生然たる若々しさを持つた氏は『イヤ何うも恐縮します』と謙遜しながら流石に包み切れぬ喜色を漂はせて語る

學位授與のことは五日に文部省から通知がありましたが實に意外です私の拙い論文が學位を贏ち得やうなどゝは夢にも思ひませんでした

◆◆論文の題　は『肝臓ヂストマの構造及び發育』と云ふのです一體この肝臓ヂストマは岡山縣、滋賀縣、宮城縣に多い病氣でその撲滅は中々困難なのですこれは今迄發育の状態が明かでなかつた爲ですが私は種々研究の結果肝臓ヂストマは人體を離れると一旦水中に入り貝類を中間宿主として繁殖した上その幼蟲は更に鯉科に屬する

◆◆淡水產の　小さな魚類の肉に喰ひ込み、それから再び人體に戻るものだと云ふことを發見しましたこの媒介者は主として鰭と稱する鯉に似た魚で一尾の鰭から四百位の幼蟲を發見したこともあります、鯉や鮒からはまだ發見しませんが多年數に亘つて數多く調べたなら或はこれを發見することが出來るかも知れません、肝臓ヂストマは人體に這入ると繁殖はしませんが

◆◆漸次成育　して種々の恐るべき病因となりますから保健上大いに警戒せねばなりません

この肝臓ヂストマは鮮人にも大分あるやうでこれは研究してゐませんが多分その發育環は前に述べた通り人體から貝類に宿り更に淡水產の魚類に移つて再び人體に戻るものであらうと思ひます、發育環が明かになりますと

◆◆この豫防　は誠に易々たるもので詰り淡水產の魚類を生の儘食はなければ好いといふ事になります、淡水產の魚類は主として酢や酢味噌で食ふのが美味いやうですが肝臓ヂストマは酢や酢味噌には比較的抵抗力が強いから生の儘では危險です私の提出した論文の主旨も先づ大體以上のやうなもので然う取立て、申し上げる程のこともありません

▼閲歷　今回新に理學博士の學位を授けられたる京城醫學專門學校講師小林晴治郎氏は岡山縣[illegible]村大字[illegible]の人にして明治十七年三月三日を以て生れ三十六年文部省中等教員動物生理科免狀を受け翌三十七年四月第六高等學校生物學教[illegible]に[illegible]し[illegible]を經て三十八年十一月更に中等教員植物科免狀を受け翌三十九年東京帝國大學理科大學動物學選科に入り動物生理を專攻する事四箇年四十二年七月卒業し出でゝ業を卒ゆるや教授として再び第六高等學校に迎へられしが後同校を辭し内務省傳染病研究所に入りて研鑽を積むこと六年間大正三年十一月北里研究所に轉じ大正五年五月更に轉じて總督府醫院傳染病研究科に入り爾來今日迄引續き同科にありて絶えず重要なる研究の結果を發表し傍ら京城醫學專門學校講師として教鞭を執へり

◇小林新博士と其筆蹟

間諜戰

砲彈よりも間諜が恐い

大砲の戰とは飛行機潜水艇の戰ひとなり更に間諜戰が今や全世界を

◇獨探に　對する守勢を攻勢に轉じ積極的行動に出でる方針で聯合國は敵國に向つて續々有力なる多數の間諜を放つてゐる即ち最近墺匈國の各都市に相次で起りつゝある間諜工の起りつゝあるのは全く聯合國間諜の放つた導火で同國のルーヴイム、ラブン、ボース等は最も甚だしく是等の

◆都市を　中心として今や墺匈國内に一大擾亂が勃發せんとするの兆がある、殊に同國は歐洲各國の内で最も異民族が多く之を細かく分類すると實に廿五民族あり、其の中にも波蘭人、チェック族、ユーゴ、スラブ族などは多年墺匈國人から非常な

◆壓迫を　受つゝあるので彼等は同じ國に住みながら歴史的に墺匈人を仇敵の如く思ひ機會さへあらば此覊絆より脱して民族の獨立を企てようとしてゐる此民族の獨立の爲めには如何なる犧牲も辭せざる程彼等の決心は強く、そして聯合國の間諜は其處に

◆聯合國　間諜の先つ第一に覘つた處で墺匈國は宛然危險な爆發物を懷にしてゐる樣なものである、而してチェック族が墺匈軍中より露國に降り更に西伯利亞を迂回して遠く西歐戰場に向はんとしてゐるのも是れ悉く

◆巧妙な　る聯合國間諜の活動の結果である、即ち之等の間諜は今後如何なる方面に向つて如何なる大動地の活躍をするか又獨逸間諜の從來の惡辣なる手腕に激して如何なることが能きるか恐らくは全世界に於て目覺しい間諜戰が演ぜられるであらう

京釜間荒しの賊

博徒の親分さん

慶尚北道大邱郡大和村生れ住所不定の要原豐三（二十三）は諸賭各地にて賭博に耽りたる博徒の親分株にて賭博前科四犯暴行致死一犯の前科者なるが本年五月頃紳士風を裝ひ大連より釜山へ流れ込み榮町二丁目備後亭竹子に現を拔かして居る内お召の羽織を入質したることより足がつき釜山署の刑事が取調べの結果本町松本政吉方にて衣類十六點を窃取したることを突き止め同人を追跡し七月二日京城長谷川町にて逮捕し目下釜山署にて嚴重に取り調中なるが豐三の自白に依れば此の外富平町山下方にて衣類八點約百圓餘京城旭町西條正方にて衣類八十六圓餘同本町三丁目村岡利夫方にて衣類百四十餘圓大邱及び釜山に二三箇所を荒し其の全部は龍山桃山部樓沼津宇平方きこ（二）に入上げ夫婦約束迄爲し居たる處を逮捕されたるが尚餘罪ある見込にて取調中なるが同人の自白せし分のみにて約八百餘圓の被害なり（釜山）

京釜線被害

汽車不通となる

◇十日朝開通

鳥致院成歡驛の間に鐵路故障數箇所あり爲に汽車不通と爲り又鳥致院京城間の電話不通と爲る全義邑内の浸水家屋は六十戸に及び昨年の被害に劣らざる可く九日午後三時に至り稍減水せるも汽車開通は十日朝の見込なり（鳥致院特電）

鮮人小兒溺死

慶北高靈郡茶山面湖村洞にある往乙池堤防は過般の豪雨にて地盤弛み居たりしと見え五日午前十一時三十分頃突然決壞し約二十間崩壞し爲めに鮮人少兒二名溺死し鮮人男一名行方不明となりたるが外に水田約三百五十間の被害を蒙れりと（大邱）

高いお米に糠と水

を加へる奸商

近來の底拔けに騰貴したる米價を奇貨とし尚不正手段を加へ販賣する者あり此の程販賣し居れる某朝鮮人米屋は慶尚南道昌原郡馬山府新場市場にて白米が餘りに軟かきより出張の官憲が取調べたるに發覺をなしたる米に水にて練りたる糠を混入して一見眞白く見せかけて上等米の如く裝ひ其の量を殖やして賣り捌きゐたること判明したるより嚴重に戒告して件の奸手段を施したる分の米は一升につき二十六錢だけ安値にて販賣する樣命じたりとなるが倉患南にては外一箇所にても同樣の米を發見したるより警務部にては各警察署に命じ市場にて取引さるるもの並に店舖の米穀に就き一應檢査をなし居れるが萬一不正品を發見したる場合はこの際嚴重處罰すべき意氣込みなりと

運動界

▼滿鐵コート開勝負　六日明治町滿鐵テニスコート開きに於ける同倶樂部庭球試合勝負如左

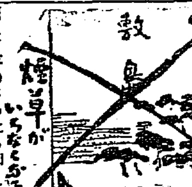
紅		白
平井、五十嵐	一：三	谷、中谷○
今里、花房○	：三	谷、中谷◎
西、新宮	三：一	原竹、佐藤
西、新宮	一：二	中村、和田○
◎松尾、藤	谷三：一	中村、和田
◎松尾、藤	谷三：一	○谷川、淺海
後退組		
○松尾、藤	谷三：○	谷、中谷

縞セル　一反只の二圓卅錢

東京市日本橋區本石町一丁目白木屋服部閣介商店にて今回三千有餘反の新型縞セル地を買取たるが品質は極めて上等品なるも然る一反の如き捨値段一反タッタ二圓三十錢甲號三圓三十錢乙號二圓三十錢と云ふ法外の安値にて賣始めたが一見十圓以上のセル品で何等遜色なき新柄セル地で如き好評にて日々多數に賣行きつゝあり且つ同店は地方部設置七週年に相當する記念として自然十八錢の色摘物を一反の註文毎に一個無代進呈をなすこと云ふ因に希望者は早速切にならぬ内男女別年齢を記しハガキにて申し込めば色柄見本及び新發賣切に見計ひ送料も實費で送ると

肺病　肋膜炎！　責任賣藥

（廣告本文判讀困難）定價一圓五十錢、五圓　長崎小ケ倉本願寺說教所　長崎小ケ倉天光合名會社

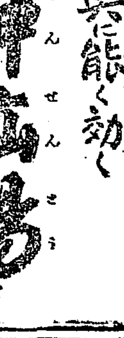
煙草がいらなくなる
十三時間内に

◉煙草がやめたくてやめられぬ人煙草の恐るべき害毒の知りたい人は唯だ一日に
◉煙草さへやめられたならば壹千圓の生命保險が只で付けられる
間にて多年の喫煙の習慣を一掃したき人は往復ハガキにて東京麴町八丁目安田國民健康保全會に即刻申込まる可し說明書無代進呈す

好評如沸　初日以來連日滿員
キネオラマ連鎖　船長の妻
連鎖大活劇　百萬弗の秘密　第一第二篇
六日大盛況上場の爲十一日限り絶對に日延せず
黄金館

子宮病と血の道とリウマチスに惱む人は

彼れ是と迷ふ事無く眞に能く効く神疝湯を

即ち試みよ現に
◎烈しき神經痛で惱みし人
◎頑固難治のリウマチスの人
◎數年固疾の疝氣で苦しみ人
◎百法効なき子宮病の婦人
◎常に悲しむ血の道の婦人
◎多年惱めるヒステリーの人
◎不治の慢性胃腸らめし人
などが此良藥神疝湯の連服で漸次快方に赴き遂にはスッカリ快癒し嬉さの餘り懇篤な禮狀（現在保存一般の閲覧に供す）を寄らるゝ實例も尠からず若し不幸にも是等の病に惱む人あらば輕症と難症の論なく即刻試よ神疝湯は家方の良藥として全國各藥店に有り



☞こんな徴候の人
肩、腰、手、足、肩、脊、腰、膝に三等つり、痺、しびれ又は筋張痛❷彼處此處と移動し❸何となく怠く❹腹張差込❺腹なり胸つかゑ❻飲食進まず又は進過ぎ❼便秘又は下痢❽寒氣❾逆上❿血眼⓫目眩⓬耳鳴⓭頭痛⓮齒痛⓯頭重く肩凝⓰腹に力なく⓱腰足冷へ⓲夜眠られず⓳痛む氣鬱し易く⓴記憶あしく㉑氣鬱し㉒顏手足の浮腫む㉓寒冷に感じ易く等痛氣、リウマチス、神經痛と胃腸及子宮病、血の道より起る諸患に惱む人は片時も早く神疝湯を試みよ

價藥　半週分五拾錢　一週分九十錢　二週一圓五十錢　三週一圓六十錢　一週六十錢　二回分十錢　二日分廿錢　試用

名古屋市東區京町二丁目
本舖　藥種商　荒川長太郎商店
電話長千百二十七番　振替東京二二四三番　日座大七二九五番

最新刊　書名　著者名　定價
中外歐洲研究會　世界各國關税の研究　定價一圓二十錢
紡績業の將來　下野憲之助　一、五〇
獨乙文法辭典　片山正雄　一、八〇
史話と文話　荻野由之　一、八〇
朝鮮總督府編　鮮語階梯　定價十六錢
間道の無い讀書の要方　齋藤和堂　七五
基督教新論　海老名彈正　一、〇〇
支那漫遊記　德富猪一郎　二、五〇
円川龜三郎著　關東先布陣挑戰法　定價一圓二十錢
新書簡卓上便覽　服部春香　一、六〇
鼎の輕重　帝國公論　村井弦齋　一、〇〇
朝鮮鐵道院編　鐵道旅行案内　定價一圓五十錢
滿洲朝鮮鐵道案内　滿鐵京城管理局　七〇
少女の將　生田花月譯　六〇
久保田萬太郎著　東京夜話　定價九十錢　六五
京城本町　大阪屋號　電話六八四番　振替京城二〇八六番　二五七三番

京城龍山等各地に僞物有御注意
三休橋　百圓進呈　大阪有田ドラッグ商會
りん病　ばい毒　藥定價一圓　講習會
帝國醫科大學病院
淋病特效藥は淋毒に効かずとも淋病特效藥は梅毒に効く等にて皆掲配劑せる高貴藥あるを保證す若し前述の証言に違へる事を發見せる時は百圓進呈
◉あらゆる治療をあすも効あき患者に衝療法を
にせ物　東京大阪各地にせドラッグあり
大阪有田　藥を買ふ時は取次に用心
京城南大門外停車場通　ドラッグ商會滿鮮本部
京城黄金町三丁目（全支店）　龍山練兵場前停留所（全支店）　釜山大廳町二丁目（全支店）　元山本町三丁目（全支店）　平壤櫻町十二番地（全支店）　仁川宮町二丁目（全支店）
朝鮮のにせ物
京城、龍山、仁川等各地ににせドラッグあり瞞著せらるゝ樣御注意を乞ふ
請合藥各種他藥店販賣不許
全國到る所の都市朝鮮滿洲南清台灣等に支店あり
松　クラブ　有田　大阪心斎橋筋本町　東京日本橋通四

妻の心（三十三）

六の五　小林蹴月作　武内桂舟畫

『奥様、嘸阿婆摺れの女こお呆れで御座いませうね。』

若龍は、禮子が呆れに呆れはてた顔を視上げて、うすら笑ひを漏らしながら云つた。

『いゝえ、什う致しまして……。』こ禮子は、證拠なしのつゝましやかさを装つては居るものの、若龍の今云つた事が、果して全然眞實の告白であるか否かに就て、尚ほ多少の疑問を挾んだ。見て取つた機敏の若龍は、畳みかけるやうに膝を進めて、

『もし町川の奥様、高が藝者風情の申す事で御座いますから、貴女は必ず、嘘か實かを疑つてお在遊ばすかも知れませんが、嘘でないこ云ふ證據を此處で貴女にお目に掛けませう。』こ、云ひながら、帯の間の紙入の中から、一枚の名刺を取出し、

『是を御覧遊ばせ。町川さんも御存じなら、貴女も多分御承知のお方こ思ひますが、此のお方が實際妾こは、久しい以前からさまざまのお約束が交してあるんで御座いますのよ。おほ、ほ、ほ。』

本統に酔ひが廻つて來たのか、それこも故意こてれ隠しに酔つた態を装ふのか、若龍は、大分言葉遣ひのみならず、お座敷の姿態までが、大まかでぞんざいになつて來たのである。

『まあ、良人も妾もお馴染みのお方だこ被仰るんですか……?』

禮子は、何こなく自分の肚の中でも試さるるやうな思ひが爲ながら、若龍の差出した名刺の文字を讀んで見るこ、驚きの上に驚きの上塗であつた。それには、櫻井順吉郎こしてあるのである。

『ロッ、櫻井の順さん……が、』こ

女の……?』

『奥様、是までに申し上げたら、お疑ひが晴れましたで御座いませう。』

『まあ、本統に意外な事もあるもんで御座いますわね。それではあの若龍さん、貴女お一人の身體を、良人こ櫻井さんこで、競爭でも爲て居つたやうに考へられますけれども、眞個そんなことがあつたので御座いませうかね。』

『ほ、ほ、ほ、そりや奥様方のお考へからは、隨分不思議にお感じでいませうけれども、妾達の社會では、是位の事は有がちなんで御座いますの。一人二人はおろかな事、場合に依ては、五人でも六人でも、上手に知れぬやうに操縦の出來得る藝者ほど、伎倆が好いこしてあるんで御座いますもの。』

何様、云はれて見れば、それも然うかも知れぬが、自分には眞の從兄妹同士であり、又一度びは自分の花婿にも擬せられた事のある順吉郎こ、現在の良人たる久三郎こが、知つてか知らずにか、一人の若龍を競爭の標的こして互ひに現をぬかして居るこは、何たる突迦々々しい、何たる淺猿しい擧動であらう。禮子は、倩々こ男心を情なく思つたのである。

『然う云ふ事こも存じませんで、お忙しい所を大變失禮しまして御座います。その御名刺を拜見しましたので、能くお話の順序も分りまして御座いますから、一先づ宅へ歸りまして、何こか思案を致さねばなりません。で、若龍さん甚だ何では御座いますけれども、是はほんのお初にお目に懸りました印で御座いますから……。』こ、

禮子は、若干かの紙幣を白紙に包んで、其處へ差出す。

『あら、奥様、殿方の御客様では御座いますまいし、そんな御心配遊ばしては困りますわ。お貰ひになりましたら、情顏旦那様にもよろし……』こ、云ひかけた言を若龍は無理に口の底に溺らせ、

『……旦那様が今後、妾の方へお見えになるやうなことが御座いましても、他の藝妓衆は知らず妾に限つては必ず、お座敷をお斷り致しますゆゑ、乾度御安心遊ばして下さい。』こ、語尾に力のこもつた挨拶。

それを聞いた禮子は、何がなしに、肩の重荷を卸したやうな氣が爲た。こ、此の時恰度お銚子の代りを持つて來た女中が、『若龍さんお後口ですが、何こ云つこきませう』こ訊ねる。

『然う。矢張此方のお家……。』

『然うなのよ。二階の紅葉の間のお客さまだわ。』

『では、今穩こ云つこいて頂戴ね。』

落着いて居るやうに見せても、其の實、若龍の神經は、酒ゆゑのみでなく、顫ゑ充奮つて居るのである。

日報歌壇

夏の賜　吉野町　みよしの

の陽はいまだのぼらず夏菜に心やうやく親しまんとす

夏草の大股のはて白輝る人あまたゆくまひなりけり

青き葉も紫の葉もとりどりに深くもさかゆ朝のしそ畑

地の上のものみな今はもだすがに[illegible]さかろなる夏の午後かも

○　植田なみ

ましろなる眼着の紬のレースより覗き見ゆ物干の夏

○　ながさだ

この心いさあふかなるもの君にもひかされやすきこの心かな

百合のうへに先づゆく心さも知らざる故のこの深みかは

あゝきみがにくきたわむれわれやかの自惚ならば消ゆましものを

北漢山　氷澄浦　浮山博次

春なれやこゝしき嶺の山々も霞引き青みけるかも

日報俳壇

園京城二葉會詠草

春深き山が抱ける御堂かな　蜂村

無雑作に石並べし庭や春深き　同

かたまりて春深き實流る哉　同

散る花に世は静まりて春深き　寸美子

山近く見ゆる書齋や春深き　露花

電燈映る街の並木や春深き　同

春深き人の往來す巷かな　十八公

曳網盛る漁村の春は深し　才淮

春深う淺りて見らぬ水車哉　錦川

瀧凉は碧湛へて春深き　山[illegible]

絃彈れて琵琶春深き哉　竹[illegible]

春深き並木街道を牛車かな　羽[illegible]

春深き動植園の畑面かな　孤舟

春深う庭草の穂が眼みし　凡骨

春深き色湛へたる池かな　大市

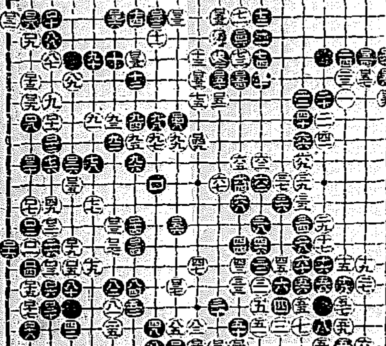
欄に凭りて戯せる妓や春深き　松[illegible]

碁戰（八）

（大正七年六月二十三日京城日報主催於圍碁會）

四段　喜多文子　四子　鮎貝房之進

○一四一　ち十九
●一四二　ろ十六
○一四三　ぬ十六
●一四四　ろ十九
○一四五　ち十六
●一四六　ち十三
○一四七　り三
●一四八　ろ七
○一四九　ぬ八
●一五〇　り五
○一五一　り六
●一五二　り四
○一五三　ぬ五
●一五四　ち五
○一五五　り二
●一五六　を十二
○一五七　ろ五
●一五八　い五
○一五九　い六
●一六〇　い四



漢江の川霧をこめてたつ霞今宵さもしも龍山の灯は

漢江の川の霧眩み行く舟のかすめる見れば今は淋かも

夕陰に白々しもよ河の面にひとりし立てば人の戀しも

五月雨のたまの晴れ間の今朝なれば足を濡らして野にゐたりわれは

▲夏の歌を募る

□鷄林同人會第二十四回詠草

初夏　佐々木信一

若葉吹く風のあまりに若葉の花くづれちる初夏の庭　同

天に地に力みなぎる夏は來ぬ花に遊びし人ないさめて　平山ひさ子

酒さめて郭公さく夕月夜おぼしまねく[illegible]　松田甲

雲のかげ白くうつれる石川の岸にさきたり野茨の花　同

大川のおちゆくなちに眠ること白帆かゝれり東京の空　忠孝

文藝界

▲生田大樹氏（歌家）今十日朝出發過京の豫定

□凉色吟　義朗氏送別句會

灯取虫

灯取虫の來てまどふ燈や庭の雨　桐青

座布團に凝る兒の目し灯取虫　同

灯取虫に御ふ夜食の座　大衛門

爾りて直ぐ乾く硯や灯取虫　迦南

降り來し夜の家路こ灯取虫　北星

紬の燈籠離れぬ蛾や波晴し　爪青

雨に降す軒の行燈や灯取虫　關川子

夜すがらを米踏む[illegible]灯取虫　青[illegible]

果樹園の夜經籠るや灯取虫　竹遊子

夏草顔上夜潮をりをり光る瀧　雉子郎

鎖す戸に凄しき雲や灯取虫　川打大

宵雨の土打つ音や灯取虫　草緑

人の集ひに灯高ふる蛾かな　儀黄

夏柳

夏柳不筋の汝に一蛙あり　左衛門

葉柳や市井に住みて古簾　同

夏柳堀こなり路こなる水清淺　同

新刊紹介（到着順）

▲朝鮮公論（七月號）朝鮮水利事業國營論（社說）日鮮同盟論と危險思想　植原代議士　飛行永續の理由と終戰の原因　中溝代議士　複雜なる戰爭の原因と前途の難關　長岡中將　新聞の記者々觀たる島帝國　長岡中將　工部長官　七千餘町歩灌漑事業と吾合鐵道、小泉農商（藤井大正水利組合長）の外朝鮮の言論政策に就て長谷川總督に呈す　四十誌合と朝鮮問題、紳士体操の學理と人種、花柳病の話、女患田の記等（三十錢）京城太平通二丁目　朝鮮公論社

▲新公論（七月號）三十錢　東京京橋加賀町一八　新公論社

品質本位
人蔘エキス
チンキ
其他諸製劑
京城南大門通二丁目
朝鮮化學製藥株式會社
電話二二三六番

讀者の領分

[illegible]に答ふ[illegible]箭闘に呼ぶ營者に對て服裝の制限することなし、然れども目下物論勅論の奉讀式を行はるゝに付不敵に謬らざることと謹歩の把持さへ清廉せば軍服な最佳とす、宿[illegible]せざる者は背廣、詰襟、不[illegible]にても差支なし要するに[illegible]一の目的に付服裝は强て心配するに及ばず（軍司令部）▲妾の心要讀者へ同情す家庭の滿總理方法と我等娛樂の道を為の！共娛闘を脫せしめたし午前九時前に電話一五七二番にて『はるに』と呼び出し下さい（同情者）▲同心生さん貴方の[illegible]分月賦販賣の社名を公表する事は多數加入者の利益も害すやも知れず[illegible]の事なれば會社名は申上げません[illegible]社は斷約に非ずして[illegible]解決する事なれば反省せられん事を希みます[illegible]▲ボーガレスト様、貴方の御厚情を謝します。私はさすらひの明な公衆の前で叫つては叱られるとは知つておますが、開會までこられるとは知りませんでした。お差支なければ御交際下さい（慶北エスエス）▲恐る可き淫蕩文明に誘惑せられし現代の青年彼等は薔薇の蔭にかくれて刻々に帝國を害せんとしつゝある。彼等の頭には國家といふ觀念があるであらうか（布淮）▲軍[illegible]部では五月雨とも云はれず[illegible]事を一々[illegible]に不撤[illegible]へて數へて[illegible]くことは我々[illegible]部に報[illegible]ませぬ又[illegible]會計部でも軍司令部に做つて下さることによつて今後各[illegible]でも[illegible]ることゝ察します同時に本欄を[illegible]用の[illegible]に對して京城日報社に[illegible]して[illegible]く感謝の意を表します（愛讀者總代）

下關電來

九日午後（晴）[illegible]

●露領漁業問題

露領沿海州及び黒龍江に於ける邦人[illegible]を遂げ今日の盛況を呈するに至れる北洋漁業の興廢にかゝる重大問題に於ける漁業經營を繼續することせ[illegible]り然るに右條約は其効力十二箇年なれば我政府は新なる考慮をなさゞる[illegible]

[illegible]せる爲同行帳尻に驅る、貸出高は加し二千三百餘萬圓となれり而して[illegible]過數來日に激減せるが四日の貸出て市中銀行の借入金を償還するにせり（東京）

[illegible]匯五毛を斷らんとする形勢を現出[illegible]諸貸額五千六百四十圓にして[illegible]超過なるより目下右擬低額入札者川上もん、村上ふさ、同曜坤、伊藤かき、[illegible]横山光之助、穂光光太郎、外九二名[illegible]

ライオン煉歯磨

『お母様！
私にも、僕にも』と
お子様方の
欲しがるのは
ライオン煉歯磨に（チューブ入）
定まりました。

六歳臼歯は大切（歯科百話）

乳歯が脱けて永久歯に換り始めるのは恰ど六歳頃ですが、此發初に生える歯を六歳臼歯といひます。六歳頃になりますと、食量も多くなり、漸次堅い物を食べるやうになりますから、根の既に吸收されつゝある弱い乳歯では迚ても噛む丈の力がありません。で六歳臼歯は形も大きく頑丈に出來てゐて、次に生える大臼歯が出る迄の五六年の間は此歯だけで食物を噛み碎く役目をするのです。かういふ大切な歯であるにも拘らず、一番齲歯になりやすいのですから、よく氣をつけなければなりません。

ライオン煉歯磨　ライオン歯磨本舗　小林富次郎　支店　[illegible]　(963-7)

レート化粧料

小賣價格改正

一個壹錢上げ

レートフード　大瓶
レート煉白粉　小瓶
レート水白粉　大瓶
レート水白粉　小瓶
レート粉白粉
レート打白粉
レートホ、ベニ
レート洗粉　大袋
レート歯磨　小袋
レートポマード　小瓶

壹錢乃至貳錢上げ

レートクレーム　小瓶
レート紙白粉
レートクレーム　中瓶
レート煉白粉　中瓶
レート打白粉　特製
レート洗粉　特大
レート歯磨　大袋
レートポマード　大瓶
レートチエリー
レート透明化粧水
レートマユズミ

參錢上げ
レートフード　特大瓶
レートクレーム　大瓶
レートポット白粉

四錢乃至五錢上げ
レート煉白粉　大瓶
レート固煉白粉
レート椿油　五勺入
レート椿香油　立瓶

レート獨特の特殊原料及附屬材料更に昂騰の爲め餘儀なく値上仕候
爾後一層品質の精良を期し御愛顧に酬ひ候條層一層御愛用願上候

右大正七年七月五日より實行仕候

發賣元　平尾贊平　東京